

資料 4－2

別 紙

## 地域間幹線系統に係る 地域公共交通確保維持事業の詳細

令和 6 年（2024 年）6 月

熊本県地域公共交通協議会

## 地域間幹線系統に係る地域公共交通確保維持事業の詳細 記載事項

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性	P1
2. 地域公共交通確保維持事業に係る定量的な目標・効果及びその評価手法・測定方法	P3
3. (表1) 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者	P5
4. (表2) 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額	P7
5. (表3) 別表1の補助事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧	P21
6. (表4) 同一の補助対象系統として取り扱うことを協議会が特に認めた運行系統の範囲について	P22
7. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項	P23
8. 外客来訪促進計画との整合性	P28
9. 車両の取得に係る目的・必要性	P30
10. 車両の取得に係る定量的な目標・効果	P31
11. (表5) 車両の取得計画の概要	P32
12. (表6) 車両の取得を行う事業者、要する費用の総額、負担者及びその負担額	P33
13. 協議会の開催状況と主な議論	P35
14. 協議会メンバーの構成(熊本県地域公共交通協議会)	P36
(添付資料)	
・運行予定系統を示した地図	

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

熊本県内の地域公共交通は、人口減少等の影響により、利用者数の減少や、それに伴う交通事業者の収支悪化・自治体負担の増加に歯止めがかからない状況が長く続いてきたほか、近年では、運転手不足をはじめとする供給面の課題も顕在化している。

このような状況を受け、熊本県地域公共交通計画では、「持続可能な幹線公共交通ネットワークの構築」を目標の一つとして定め、各地域拠点を複数連絡する路線バスのうち一定の輸送量を有する路線バスについては、国、県による支援を中心に維持・確保を図ることとしている。

今回、認定申請する幹線系統については、地域公共交通確保維持事業を活用し赤字額を補填することで、系統の維持を図り、地域住民の通勤、通学、通院及び買物等に必要な生活交通手段を確保するものである。

系統ごとの目的及び必要性については、次のとおりである。

番号	事業者名	系統名	現状の利用目的	路線維持の必要性
1 1	熊本バス(株)	直行線	山都町方面から、熊本市街地への通勤・通学・通院・買物等の利用	熊本市・嘉島町・御船町から矢部高校への通学、御船町・山都町から御船高校・熊本市内の高校への通学、御船町内から御船中学校への通学、熊本市内や御船町の病院への通院、市内への買物、通勤等の手段として必要である。
2 2	熊本バス(株)	砥用線	美里町・砥用方面から、熊本市街地への通勤・通学・通院・買物等の利用	美里町・甲佐町から甲佐高校までの通学、美里町・甲佐町・御船町・嘉島町住民の熊本市内の病院への通院、買物、通勤、通学等の手段として必要である。
3 3	熊本バス(株)	辺場・甲佐線	甲佐方面から、熊本市街地への通勤・通学・通院・買物等の利用	甲佐町・御船町・嘉島町から熊本市内への通勤、通学、買物、通院の手段として必要である。
4 4	熊本バス(株)	御船・甲佐線	甲佐方面から、熊本市街地への通勤・通学・通院・買物等の利用	御船高校・甲佐高校や熊本市内の高校までの通学、甲佐町・御船町・嘉島町の住民等の熊本市内等への通院、通勤、買物の手段として必要である。
5 5	熊本バス(株)	健軍・砥用線	美里町・砥用方面から、熊本市街地への通勤・通学・通院・買物等の利用	計画輸送量が15人未満であるが、美里町・甲佐町・御船町・嘉島町の住民の熊本市内の高校等への通学および通勤、通院、買物などの手段として必要である。
6 6	熊本バス(株)	健軍線	甲佐方面から、熊本市街地への通勤・通学・通院・買物等の利用	熊本市・嘉島町・御船町の住民の御船高校・甲佐高校までの通学、甲佐町・御船町・嘉島町から熊本市内の高校への通学および通勤、通院、買物の手段として必要である。
7 7	熊本バス(株)	健軍・イオン線	熊本市街地から東区役所への利用	沿線住民の買物、通勤、通学の足としてだけでなく、乗継拠点である健軍電停・イオンモール熊本を結ぶ交通手段として必要である。
8 8	熊本バス(株)	宇土線	熊本市街地および城南地区から宇土市への通学利用	熊本市内への通勤・通学のための路線として、また、JR宇土駅での乗継利用とともに、城南地区の生活路線として、買物のための交通手段としても必要である。
9 9	熊本バス(株)	松橋線	熊本市街地および城南地区から松橋地区への通勤・通学利用	熊本市内への通勤・通学のための路線であり、主に支援学校、松橋高校生の通学として使用されている。また、JR松橋駅での乗継利用とともに、城南地区の生活路線として、買物のための交通手段としても必要である。
10 10	熊本バス(株)	画図線	城南地区から熊本市街地の学校への通学利用および通勤・通院・買物等の利用	城南町・嘉島町から熊本市内の高校（九州学院等）までの通学、また住民の県庁、市役所までの通勤・通院および買物用として必要である。
11 11	熊本バス(株)	乙女線	甲佐方面から、熊本市街地への通勤・通学・通院・買物等の利用	熊本市・嘉島町住民のくまもと南部広域病院までの通院・通勤、甲佐町住民の熊本市内への通院、通勤、買物、甲佐町学童の乙女小学校までの通学、火の君文化センターの利用者の交通の手段として必要である。
12 12	熊本バス(株)	中病・イオン線	熊本市街地への通勤・通学・通院・買物等の利用	沿線住民の熊本市街地への通勤、通学、通院、買物等への交通手段として、また、イオンモール熊本を乗継拠点として、沿線に所在する学校や病院、商業施設への足として必要である。
13 13	熊本バス(株)	江津・イオン線	江津住宅地から熊本市街地間の通勤・通学・買物等の利用	熊本市・江津住宅地からの住民の通勤、通学、買物の手段だけでなく、乗継拠点であるイオンモール熊本への交通手段として必要である。
14 14	熊本バス(株)	セイラ・イオン線	セイラ住宅地から熊本市街地間の通勤・通学・買物等の利用	熊本市・セイラ住宅地からの住民の通勤、通学、買物の手段だけでなく、乗継拠点であるイオンモール熊本への交通手段として必要である。
15 15	熊本バス(株)	城南・志導寺線	城南地区から熊本市街地への通勤・通学・買物等の利用	城南地区から熊本市中心部への通勤・通学・通院・買物等の生活路線として維持していく必要がある。
16 16	熊本バス(株)	健軍電停・イオン線	嘉島方面から熊本市街地への乗継拠点（健軍電停）への通勤・通学・買物等の利用	計画輸送量が15人未満であるが、嘉島方面から熊本市街地へ通勤・通学・買物等の利用のため、交通結節点である健軍電停への交通手段として必要である。

番号	事業者名	系統名	現状の利用目的	路線維持の必要性
17 17	熊本バス(株)	田迎・城南線	城南地区から熊本市街地への通勤・通学・買物等の利用	城南地区から熊本市中心部への通勤・通学・通院・買物等の生活路線として維持していく必要がある。
18 1	産交バス(株)	健軍・東無田經由熊本・御船線	御船方面から熊本市街地への通勤・通学・通院・買物利用	御船方面から熊本市街地への通勤・通学・通院・買物に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
19 2	産交バス(株)	河内經由熊本・小天線	河内方面から熊本市街地への通院・通学利用	河内方面から熊本市街地への通院・通学に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
20 3	産交バス(株)	植木・大倉經由熊本・玉名線	相互間においての通院・通学・買物の利用	相互間においての通院・通学・買物に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
21 4	産交バス(株)	菊池經由山鹿・大津線	相互間において、通院・通学・買物などの利用	相互間において、通院・通学・買物などに利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
22 5	産交バス(株)	労働庁舎・鬼池港經由本渡・富岡線	富岡方面から天草市街地への通学・通院・買物などの利用	富岡方面から天草市街地への通学・通院・買物などに利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
23 6	産交バス(株)	セントラル病院經由本渡・鬼池線	鬼池方面からの通学・通院・買物での利用及び起終点のフェリー接続	計画輸送量が15人未満であるが、鬼池方面からの通学・通院・買物での利用及び起終点のフェリー接続に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
24 7	産交バス(株)	一町田中央・久玉經由本渡・牛深線	相互間において、通院・通学・買物などの利用及び熊本市内方面との接続	計画輸送量が15人未満であるが、相互間において、通院・通学・買物などの利用及び熊本市内方面との接続に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
25 8	産交バス(株)	桜山經由玉名市役所・荒尾線	相互間においての通院・通学・買物の利用	相互間においての通院・通学・買物に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
26 9	産交バス(株)	堅志田經由松橋・砥用線	砥用方面からの通院・通学利用	計画輸送量が15人未満であるが、砥用方面からの通院・通学に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
27 10	産交バス(株)	日奈久經由八代・田浦線	相互間においての通院・通学・買物の利用	相互間においての通院・通学・買物に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
28 11	産交バス(株)	道尻經由阿蘇環状線	阿蘇市内においての通院・通学の利用	阿蘇市内においての通院・通学に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
29 12	産交バス(株)	テクノ団地經由熊本・高森線	高森・南阿蘇方面から熊本市内方面への通学・通勤利用	高森・南阿蘇方面からの通学・通勤に利用されている路線であり、住民の生活交通手段の存続をさせていくことが必要である。
30 1	熊本電気鉄道(株)	377新地団地線（合志市役所）	合志市から菊陽町を通り熊本市への通勤・通学・買物などの利用	合志市、菊陽町、熊本市の沿線住民の通勤・通学の足として、また尚綱大学武蔵ヶ丘キャンパスに通う学生に利用されており存続させていくことが必要である。
31 1	西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～大牟田市立病院・上町～庄山	南関町、荒尾市・庄山地区及び大牟田市南東部住民の通勤、通学、買物等の利用	計画輸送量が15人未満であるが、櫛野地区等の大牟田市南東部地域唯一の公共交通であり、南関町南部から乗継により大牟田市へ向かう唯一の公共交通であるため、生活交通手段として存続させることが必要である。
32 2	西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～延命公園動物園前・大牟田市立病院・新大牟田駅～南関町役場	南関町及び大牟田市北東部住民の通勤、通学、買物等の利用	新大牟田駅に接続する唯一の公共交通であり、上内校区等の大牟田市北東部地域唯一の公共交通、南関町北部から大牟田市へ向かう唯一の公共交通、沿線の上内小学校学童のバス通学手段であることから、存続させることが必要である。
33 3	西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～右京町～久福木団地	荒尾市及び大牟田市住民の通勤、通学、買物等の利用	当該路線については、大牟田市と熊本県荒尾市の2市を跨いで運行し、JR大牟田駅、西鉄大牟田駅、JR荒尾駅と接続しており、沿線住民の日常生活に必要不可欠な交通手段となっているため、幹線として維持することが妥当である。
34 4	西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～天領橋～三池中町	荒尾市及び大牟田市住民の通勤、通学、買物等の利用	当該路線については、大牟田市と熊本県荒尾市の2市を跨いで運行し、JR大牟田駅、西鉄大牟田駅、JR荒尾駅と接続しており、沿線住民の日常生活に必要不可欠な交通手段となっているため、幹線として維持することが妥当である。
35 1	南国交通(株)	水俣線（佐潟口・水俣車庫線）	阿久根市、出水市、水俣市間の広域交通手段	左記市間の広域交通手段、特に阿久根市、出水市の商業施設への買い物、水俣市立医療センターへの通院、出水市内立地の5高校への通学手段として必要である。

2. 地域公共交通確保維持事業に係る定量的な目標・効果及びその評価手法・測定方法

本計画における定量的な目標は、ダイヤの見直し等により利便性の向上を図り、当該年度1日当たりの輸送量を確保すること、及び効率的な運行を実施することで、行政負担額の縮減と事業者の収益性の向上を図ることとする。系統ごとの目標は以下のとおりである。

事業の効果として、地域間幹線バス系統を維持することにより、広域行政圏の周辺部から中心部への移動手段を持たない人のための生活交通手段を確保することが期待できる。

その評価手法及び測定方法は、事業者からの提供データを基に、各年度において現状値に対する増減の状況进行评估する。

番号	事業者名	系統名	1日当たりの輸送量（人）		行政負担額（千円） （国、県、市町村による補助額の合計）		収支率（％） （生産性向上の取組の数値目標）		
			R5年度実績	R7年度目標値	R5年度実績	R7年度目標	R5年度実績	R7年度目標	収支改善率
1	1 熊本バス(株)	直行線	32.3 人	24.4 人	39,216	38,359	47.90%	48.64%	0.74%
2	2 熊本バス(株)	砥用線	25.6 人	16.3 人	17,560	16,339	55.31%	56.19%	0.88%
3	3 熊本バス(株)	辺場・甲佐線	23.7 人	20.0 人	14,306	14,633	53.50%	54.19%	0.69%
4	4 熊本バス(株)	御船・甲佐線	36.4 人	30.0 人	19,353	19,605	57.66%	58.41%	0.75%
5	5 熊本バス(株)	健軍・砥用線	20.5 人	12.5 人	19,485	15,257	49.34%	50.13%	0.79%
6	6 熊本バス(株)	健軍線	42.7 人	37.4 人	22,170	24,513	56.84%	57.56%	0.72%
7	7 熊本バス(株)	健軍・イオン線	23.5 人	18.4 人	8,993	8,692	61.15%	61.95%	0.80%
8	8 熊本バス(株)	宇土線	17.1 人	15.1 人	5,262	5,147	66.92%	67.78%	0.86%
9	9 熊本バス(株)	松橋線	22.0 人	15.1 人	8,802	6,991	64.14%	65.03%	0.89%
10	10 熊本バス(株)	画図線	21.9 人	18.0 人	6,919	5,794	74.93%	75.91%	0.98%
11	11 熊本バス(株)	乙女線	24.8 人	17.5 人	18,597	16,511	48.49%	49.14%	0.65%
12	12 熊本バス(株)	中病・イオン線	49.0 人	36.9 人	5,898	6,508	77.78%	78.82%	1.04%
13	13 熊本バス(株)	江津・イオン線	53.5 人	40.8 人	7,706	6,830	84.79%	85.93%	1.14%
14	14 熊本バス(株)	セイラ・イオン線	53.0 人	46.3 人	6,696	8,543	85.44%	86.55%	1.11%
15	15 熊本バス(株)	城南・志導寺線	19.4 人	15.1 人	5,648	4,329	75.30%	76.30%	1.00%
16	16 熊本バス(株)	健軍電停・イオン線	19.4 人	11.7 人	8,670	6,905	42.73%	43.32%	0.59%



番号		事業者名	系統名	1日当たりの輸送量（人）		行政負担額（千円） （国、県、市町村による補助額の合計）		収支率（％） （生産性向上の取組の数値目標）		
				R5年度実績	R7年度目標値	R5年度実績	R7年度目標	R5年度実績	R7年度目標	収支改善率
17	17	熊本バス(株)	田迎・城南線	56.2 人	52.9 人	0	5,949	109.47%	110.87%	1.40%
18	1	産交バス(株)	健軍・東無田經由 熊本・御船線	18.0 人	16.0 人	15,181	15,181	40.70%	41.70%	1.00%
19	2	産交バス(株)	河内經由 熊本・小天線	42.5 人	39.1 人	22,971	22,971	49.34%	50.34%	1.00%
20	3	産交バス(株)	植木・大倉經由 熊本・玉名線	19.6 人	17.9 人	16,374	16,374	46.07%	47.07%	1.00%
21	4	産交バス(株)	菊池經由 山鹿・大津線	26.5 人	20.1 人	56,890	56,890	29.05%	30.05%	1.00%
22	5	産交バス(株)	労働庁舎・鬼池港經由 本渡・富岡線	24.1 人	17.8 人	57,352	57,352	26.80%	27.80%	1.00%
23	6	産交バス(株)	セントラル病院經由 本渡・鬼池線	7.5 人	4.4 人	18,265	18,265	19.25%	20.25%	1.00%
24	7	産交バス(株)	一町田中央・久玉經由 本渡・牛深線	13.8 人	12.8 人	102,331	102,331	17.20%	18.20%	1.00%
25	8	産交バス(株)	桜山經由 玉名市役所・荒尾線	27.3 人	24.9 人	34,089	34,089	35.00%	36.00%	1.00%
26	9	産交バス(株)	堅志田經由 松橋・砥用線	13.8 人	12.8 人	39,993	39,993	21.66%	22.66%	1.00%
27	10	産交バス(株)	日奈久經由 八代・田浦線	20.5 人	16.5 人	36,884	36,884	19.14%	20.14%	1.00%
28	11	産交バス(株)	道尻經由 阿蘇環状線	22.8 人	22.8 人	31,803	31,803	17.80%	18.80%	1.00%
29	12	産交バス(株)	テクノ団地經由 熊本・高森線	23.4 人	21.9 人	11,466	11,466	68.66%	69.66%	1.00%
30	1	熊本電気鉄道(株)	377新地団地線 （合志市役所）	26.0 人	26.0 人	586	550	70.36%	72.00%	1.64%
31	1	西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～大牟田 市立病院・上町～庄山	11.4 人	15.0 人	12,365	12,118	30.40%	32.40%	2.00%
32	2	西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～延命公園 動物園前・大牟田市立病院・ 新大牟田駅～南関町役場	35.8 人	35.8 人	36,222	35,498	37.47%	39.47%	2.00%
33	3	西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～右京町～久福木団 地	39.6 人	39.6 人	9,294	9,108	65.18%	67.18%	2.00%
34	4	西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～天領橋～三池中町	39.5 人	39.5 人	8,011	7,851	68.26%	70.26%	2.00%
35	1	南国交通(株)	水俣線 （佐潟口・水俣車庫線）	26.0 人	26.0 人	30,510	47,605	35.36%	36.56%	1.20%

## 3. (表1) 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者(地域間幹線系統)

令和7年度

都道府県 (市区町村)	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	確保維持事業に 要する国庫補助 額(千円)	特 例 措 置
熊本県	熊本バス(株)	(1) 直行線	9,788.5	
	熊本バス(株)	(2) 砥用線	5,140.0	
	熊本バス(株)	(3) 辺場・甲佐線	4,711.5	
	熊本バス(株)	(4) 御船・甲佐線	7,638.0	
	熊本バス(株)	(5) 健軍・砥用線	3,883.0	
	熊本バス(株)	(6) 健軍線	8,937.0	
	熊本バス(株)	(7) 健軍・イオン線	2,780.0	
	熊本バス(株)	(8) 宇土線	2,144.5	
	熊本バス(株)	(9) 松橋線	2,913.0	
	熊本バス(株)	(10) 画図線	2,120.0	
	熊本バス(株)	(11) 乙女線	4,284.0	
	熊本バス(株)	(12) 中病・イオン線	2,648.5	
	熊本バス(株)	(13) 江津・イオン線	2,875.5	
	熊本バス(株)	(14) セイラ・イオン線	3,732.0	
	熊本バス(株)	(15) 城南・志導寺線	1,968.0	
	熊本バス(株)	(16) 健軍電停・イオン線	1,138.5	
	熊本バス(株)	(17) 田迎・城南線	2,974.5	
	熊本バス(株)	計(17系統)	69,676	
	産交バス(株)	(1) 健軍・東無田経由 熊本・御船線	3,004.5	
	産交バス(株)	(2) 河内経由 熊本・小天線	8,024.0	

都道府県 (市区町村)	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	確保維持事業に 要する国庫補助 額(千円)	特 例 措 置
	産交バス(株)	(3) 植木・大倉経由 熊本・玉名線	4,248.0	
	産交バス(株)	(4) 菊池経由 山鹿・大津線	7,117.5	
	産交バス(株)	(5) 労働庁舎・鬼池港経由 本渡・富岡線	4,966.0	
	産交バス(株)	(6) セントラル病院経由 本渡・鬼池線	0.0	
	産交バス(株)	(7) 一町田中央・久玉経由 本渡・牛深線	5,488.0	
	産交バス(株)	(8) 桜山経由 玉名市役所・荒尾線	3,886.0	
	産交バス(株)	(9) 堅志田経由 松橋・砥用線	2,267.0	
	産交バス(株)	(10) 日奈久経由 八代・田浦線	3,969.5	
	産交バス(株)	(11) 道尻経由 阿蘇環状線	2,249.0	
	産交バス(株)	(12) テクノ団地経由 熊本・高森線	7,611.5	
	産交バス(株)	計(12系統)	52,831	
	熊本電気鉄道(株)	(1) 377新地団地線 (合志市役所)	402.0	
	熊本電気鉄道(株)	計(1系統)	402	
	西鉄バス大牟田(株)	(1) 西鉄大牟田営業所～大牟田市立 病院・上町～庄山	9.5	
	西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～延命公園動 物園前・大牟田市立病院・新大牟 田駅～南関町役場	1,257.5	
	西鉄バス大牟田(株)	(3) 荒尾駅～右京町～ 大牟田駅～久福木団地	386.5	
	西鉄バス大牟田(株)	(4) 荒尾駅～天領橋～大牟田駅 ～高泉団地～三池中町	374.5	
	西鉄バス大牟田(株)	計(4系統)	2,028	
	南国交通(株)	(1) 水俣線 (佐潟口・水俣車庫線)	1,856.0	
	南国交通(株)	計(1系統)	1,856	
合計(35系統)			126,793	



4.（表2） 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額（地域間幹線系統用）

事業者名	熊本バス株式会社
------	----------

R7

1. 申請事業者の概要

補助対象期間の 前々年度(基準期間※)の 損益状況	乗合バス事業						R5
	営業収益	542,093千円	営業外収益	21,910千円	経常収益(イ)	564,003千円	
	営業費用	811,480千円	営業外費用	8,523千円	経常費用(ロ)	820,003千円	
	営業損益	△ 269,387千円	営業外損益	13,387千円	経常損益	△ 256,000千円	
補助対象期間の 前々年度の 実車走行キロ(ハ)	2,569,490.8 km					経常収支率	68.78 %

基準期間の前年度の 損益状況	乗合バス事業						R4
	営業収益	496,992千円	営業外収益	38,119千円	経常収益(イ)	535,111千円	
	営業費用	819,413千円	営業外費用	7,650千円	経常費用(ロ)	827,063千円	
	営業損益	△ 322,421千円	営業外損益	30,469千円	経常損益	△ 291,952千円	
基準期間の前年度の 実車走行キロ(ハ')	2,658,898.8 km					経常収支率	64.70 %

基準期間の前々年度の 損益状況	乗合バス事業						R3
	営業収益	471,419千円	営業外収益	20,366千円	経常収益(イ')	491,785千円	
	営業費用	840,466千円	営業外費用	7,589千円	経常費用(ロ')	848,055千円	
	営業損益	△ 369,047千円	営業外損益	12,777千円	経常損益	△ 356,270千円	
基準期間の前々年度の 実車走行キロ(ハ'')	2,790,205.5 km					経常収支率	57.98 %

（補助対象事業者の「基準期間※を最終年度とする連続した過去3年間」における実車走行キロ当たり経常費用等）

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 （基準期間の前々年度） ロ''÷ハ''=a	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 （基準期間の前年度） ロ'÷ハ'=b	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 （基準期間） ロ÷ハ=c
南九州	303円.93銭	311円.05銭	319円.13銭

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

2. キロ当たり補助対象経常費用及び経常収益

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キ ロ当たり経常費用 (a+b+c)/3= ニ	地域キロ当たり 標準経常費用 ホ	キロ当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 ヘ	キロ当たり経常収益 イ÷ハ=ト
南九州	311円.37銭	330円.72銭	311円.37銭	219円.49銭

3. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

熊本バス株式会社

R7

補助 ブロック 名	申 請 番 号	特 例 措 置	運 行 系 統 名	運行系統			計画運 行日数	計画運行回数 ( )  ①＝カッコ内	計画平 均乗車 密度  ②	計画輸 送量  ①×② ＝③	系統キロ程		地域公共交通再編事業を 実施する区域におけるキロ 程	系統キロ程と地 域公共交通再編 事業を実施する 区域におけるキロ 程との比率  オ÷チ＝ク	補助ブロック外 乗入部分のキロ程		同一補助ブロック都道府県 外乗入部分のキロ程	他路線との競合 部分に係るキロ程		他路線との競合 率  ル÷チ	補助ブロック外乗 入部分、同一補助 ブロック都道府 県外乗入部分及 び他路線との競 合部分以外のキ ロ程の比率  (チー(リ＋ヌ＋ ル))÷チ＝ヲ	
				起 点	主 な 経 由 地	終 点					チ				オ	リ		ヌ	ル			ル÷チ
南 九 州	1		直行線	桜町 バスターミナル	御船	通潤山荘	365日	2,437.0回 (6.6回)	3.7	24.4人	往47.3km 復47.3km	(平均) 47.3km		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	2		砥用線	桜町 バスターミナル	辺場	砥用 学校前	360日	1,519.5回 (4.2回)	3.9	16.3人	往33.8km 復33.8km	(平均) 33.8km		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	3		辺場・甲佐線	桜町 バスターミナル	辺場	甲佐	365日	2,166.0回 (5.9回)	3.4	20.0人	往22.9km 復22.9km	(平均) 22.9km		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	4		御船・甲佐線	桜町 バスターミナル	御船	甲佐	365日	2,811.5回 (7.7回)	3.9	30.0人	往25.1km 復25.1km	(平均) 25.1km		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	5		健軍・砥用線	桜町 バスターミナル	健軍	砥用 学校前	360日	1,253.0回 (3.4回)	3.7	12.5人	往37.6km 復37.6km	(平均) 37.6km		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	6		健軍線	桜町 バスターミナル	健軍	甲佐	365日	3,531.5回 (9.6回)	3.9	37.4人	往26.7km 復26.7km	(平均) 26.7km		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	7		健軍・イオン線	桜町 バスターミナル	東区役所	イオン	360日	1,653.5回 (4.5回)	4.1	18.4人	往18.0km 復18.0km	(平均) 18.0km		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	8		宇土線	桜町 バスターミナル	城南	宇土駅	293日	1,066.0回 (3.6回)	4.2	15.1人	往22.0km 復22.0km	(平均) 22.0km		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	9		松橋線	桜町 バスターミナル	城南	松橋駅	293日	1,066.0回 (3.6回)	4.2	15.1人	往25.1km 復25.1km	(平均) 25.1km		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	10		画図線	桜町 バスターミナル	画図	城南	360日	1,500.0回 (4.1回)	4.4	18.0人	往18.4km 復18.4km	(平均) 18.4km		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	11		乙女線	桜町 バスターミナル	乙女	甲佐	360日	1,826.5回 (5.0回)	3.5	17.5人	往27.9km 復27.9km	(平均) 27.9km		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	12		中病・イオン線	桜町 バスターミナル	中央病院	イオン	360日	3,120.0回 (8.6回)	4.3	36.9人	往12.2km 復12.2km	(平均) 12.2km		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	13		江津・イオン線	桜町 バスターミナル	江津	イオン	365日	3,479.5回 (9.5回)	4.3	40.8人	往13.9km 復13.9km	(平均) 13.9km		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	14		セイラ・イオン線	桜町 バスターミナル	セイラ タウン	イオン	365日	3,766.5回 (10.3回)	4.5	46.3人	往12.8km 復12.8km	(平均) 12.8km		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	15		城南・志導寺線	桜町 バスターミナル	城南	志導寺	360日	1,200.0回 (3.3回)	4.6	15.1人	往19.5km 復19.5km	(平均) 19.5km		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	16		健軍電停・イオン 線	健軍電停前	東区役所	イオン	365日	1,793.5回 (4.9回)	2.4	11.7人	往11.1km 復11.1km	(平均) 11.1km		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	17		田迎・城南線	桜町 バスターミナル	田迎	城南	365日	3,097.5回 (8.4回)	6.3	52.9人	往15.0km 復15.0km	(平均) 15.0km		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
合計			17系統							往389.3km 復389.3km	(平均) 389.3km		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)			

6

補助 ブロック 名	申請 番号	特 例 措 置	補助ブロック外乗 入部分及び同一 補助ブロック都道 府県外乗入部分 以外のキロ程の 比率  (チー(リ＋ヌ)÷ チ＝ヲ')	計画実車走行 キロ  ワ	補助対象 経常費用 の見込額  ヘ×ワ以下の額: カ	補助対象系統のキロ当たり経常収益									補助対象系統の 経常収益の見込 額  ノ×ワ以上の額: ヨ	補助対象経常 費用から経常 収益を控除した 額  カーヨ＝タ	補助対象経費 の限度額  カ×9/20＝レ	タ又はレのうちい ずれか少ないほう の額  ソ	
						(d＋e＋f)/3＝ノ	基準期間の前々年度			基準期間の前年度			基準期間						
							経常収益 ヤ''	実車走行 キロ マ''	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ''÷マ''＝d	経常収益 ヤ'	実車走行 キロ マ'	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ'÷マ'＝e	経常収益 ヤ	実車走行 キロ マ					補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ÷マ＝f
南 九 州	1		100.000%	230,540.2km	71,783,302円	144円.98銭	35,185,122円	278,131.3km	126円.50銭	42,918,558円	275,818.5km	155円.60銭	40,893,654円	267,507.6 km	152円.86銭	33,423,718円	38,359,584円	32,302,485円	32,302,485円
	2		100.000%	102,718.2km	31,983,365円	152円.30銭	13,367,530円	100,381.2km	133円.16銭	23,314,956円	158,346.6km	147円.24銭	24,604,768円	139,384.8 km	176円.52銭	15,643,981円	16,339,384円	14,392,514円	14,392,514円
	3		100.000%	99,202.8km	30,888,775円	163円.86銭	14,016,432円	103,164.5km	135円.86銭	19,258,017円	104,103.4km	184円.98銭	17,591,378円	103,027.1 km	170円.74銭	16,255,370円	14,633,405円	13,899,948円	13,899,948円
	4		100.000%	141,137.3km	43,945,921円	172円.46銭	23,538,949円	142,894.3km	164円.72銭	24,052,405円	142,593.1km	168円.67銭	27,329,300円	148,516.7 km	184円.01銭	24,340,538円	19,605,383円	19,775,664円	19,605,383円
	5		100.000%	94,225.6km	29,339,025円	149円.45銭	22,804,072円	163,542.0km	139円.43銭	24,268,863円	160,208.4km	151円.48銭	20,952,618円	133,060.3 km	157円.46銭	14,082,015円	15,257,010円	13,202,561円	13,202,561円
	6		100.000%	188,582.1km	58,718,808円	181円.38銭	31,067,004円	171,093.6km	181円.57銭	30,856,901円	170,292.6km	181円.19銭	33,742,854円	186,018.9 km	181円.39銭	34,205,021円	24,513,787円	26,423,463円	24,513,787円
	7		100.000%	59,526.0km	18,534,610円	165円.34銭	13,316,553円	98,388.0km	135円.34銭	16,189,822円	97,794.0km	165円.55銭	12,445,715円	63,774.0 km	195円.15銭	9,842,028円	8,692,582円	8,340,574円	8,340,574円
	8		100.000%	46,904.0km	14,604,498円	201円.63銭	8,070,737円	46,420.0km	173円.86銭	10,340,849円	47,546.4km	217円.48銭	9,928,019円	46,486.0 km	213円.57銭	9,457,253円	5,147,245円	6,572,024円	5,147,245円
	9		100.000%	53,513.2km	16,662,405円	180円.72銭	9,590,387円	68,573.2km	139円.85銭	13,356,504円	67,583.6km	197円.62銭	13,966,794円	68,231.6 km	204円.69銭	9,670,905円	6,991,500円	7,498,082円	6,991,500円
	10		100.000%	55,200.0km	17,187,624円	206円.39銭	9,747,812円	57,444.8km	169円.69銭	11,965,051円	56,881.0km	210円.35銭	13,719,222円	57,371.2 km	239円.13銭	11,392,728円	5,794,896円	7,734,430円	5,794,896円
	11		100.000%	101,918.7km	31,734,425円	149円.36銭	19,671,097円	137,268.0km	143円.30銭	20,223,557円	134,785.1km	150円.04銭	19,274,224円	124,545.6 km	154円.75銭	15,222,577円	16,511,848円	14,280,491円	14,280,491円
	12		100.000%	76,128.0km	23,703,975円	225円.88銭	22,605,669円	104,441.4km	216円.44銭	22,566,200円	105,932.6km	213円.02銭	21,533,632円	86,756.9 km	248円.20銭	17,195,792円	6,508,183円	10,666,788円	6,508,183円
	13		100.000%	96,730.1km	30,118,851円	240円.76銭	31,357,486円	156,597.4km	200円.24銭	38,826,260円	154,393.4km	251円.47銭	29,451,039円	108,837.0 km	270円.59銭	23,288,738円	6,830,113円	13,553,482円	6,830,113円
	14		100.000%	96,422.4km	30,023,042円	222円.77銭	15,362,741円	81,049.6km	189円.54銭	18,367,726円	89,100.8km	206円.14銭	26,132,829円	95,846.4 km	272円.65銭	21,480,018円	8,543,024円	13,510,368円	8,543,024円
	15		100.000%	46,800.0km	14,572,116円	218円.85銭	9,155,139円	51,441.0km	177円.97銭	12,318,709円	51,697.8km	238円.28銭	12,375,696円	51,498.1 km	240円.31銭	10,242,180円	4,329,936円	6,557,452円	4,329,936円
	16		100.000%	39,815.7km	12,397,414円	137円.94銭	4,394,473円	36,052.8km	121円.88銭	5,654,302円	36,341.4km	155円.58銭	7,509,358円	55,067.1 km	136円.36銭	5,492,177円	6,905,237円	5,578,836円	5,578,836円
	17		100.000%	92,925.0km	28,934,057円	247円.35銭	16,353,081円	88,560.0km	184円.65銭	17,839,832円	85,744.8km	208円.05銭	29,623,743円	84,795.0 km	349円.35銭	22,984,998円	5,949,059円	13,020,325円	5,949,059円
合計				1,622,289.3km	505,132,213円		299,604,284円	1,885,443.1km		352,318,512円	1,939,163.5km		361,074,843円	1,820,724.3km		294,220,037円	210,912,176円	227,309,487円	196,210,535円

10

補助 ブロック名	申請 番号	特 例 措 置	ソのうち補助ブ ロック外乗入部 分、同一補助ブ ロック都道府県外 乗入部分及び他 路線との競合部 分以外に係るもの	ソのうち補助ブ ロック外乗入部分 及び同一補助ブ ロック都道府県外 乗入部分以外に 係るもの	計画平均乗車 密度が5人 未満の路線	補助対象経費	計画額	経常費用から 経常収益を控除 した額	損失額から国庫 補助額を控除し た額	ウの負担者とその負担割合								
										都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担		「その他の者」の 具体的概要
										負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	
南九州	1		32,302,485円	32,302,485円	19,577,263円	19,577 千円	9,788.5千円	38,359,584円	28,571,084円	9,788,500円	34.3%	18,782,584円	65.7%					
	2		14,392,514円	14,392,514円	10,280,367円	10,280 千円	5,140.0千円	16,339,384円	11,199,384円	5,140,000円	45.9%	6,059,384円	54.1%					
	3		13,899,948円	13,899,948円	9,423,693円	9,423 千円	4,711.5千円	14,633,405円	9,921,905円	4,711,500円	47.5%	5,210,405円	52.5%					
	4		19,605,383円	19,605,383円	15,276,921円	15,276 千円	7,638.0千円	19,605,383円	11,967,383円	7,638,000円	63.8%	4,329,383円	36.2%					
	5		13,202,561円	13,202,561円	7,766,212円	7,766 千円	3,883.0千円	15,257,010円	11,374,010円	3,883,000円	34.1%	7,491,010円	65.9%					
	6		24,513,787円	24,513,787円	17,874,636円	17,874 千円	8,937.0千円	24,513,787円	15,576,787円	8,937,000円	57.4%	6,639,787円	42.6%					
	7		8,340,574円	8,340,574円	5,560,382円	5,560 千円	2,780.0千円	8,692,582円	5,912,582円	2,780,000円	47.0%	3,132,582円	53.0%					
	8		5,147,245円	5,147,245円	4,289,370円	4,289 千円	2,144.5千円	5,147,245円	3,002,745円	2,144,500円	71.4%	858,245円	28.6%					
	9		6,991,500円	6,991,500円	5,826,250円	5,826 千円	2,913.0千円	6,991,500円	4,078,500円	2,913,000円	71.4%	1,165,500円	28.6%					
	10		5,794,896円	5,794,896円	4,240,167円	4,240 千円	2,120.0千円	5,794,896円	3,674,896円	2,120,000円	57.7%	1,554,896円	42.3%					
	11		14,280,491円	14,280,491円	8,568,294円	8,568 千円	4,284.0千円	16,511,848円	12,227,848円	4,284,000円	35.0%	7,943,848円	65.0%					
	12		6,508,183円	6,508,183円	5,297,358円	5,297 千円	2,648.5千円	6,508,183円	3,859,683円	2,648,500円	68.6%	1,211,183円	31.4%					
	13		6,830,113円	6,830,113円	5,751,674円	5,751 千円	2,875.5千円	6,830,113円	3,954,613円	2,875,500円	72.7%	1,079,113円	27.3%					
	14		8,543,024円	8,543,024円	7,464,778円	7,464 千円	3,732.0千円	8,543,024円	4,811,024円	3,732,000円	77.6%	1,079,024円	22.4%					
	15		4,329,936円	4,329,936円	3,936,305円	3,936 千円	1,968.0千円	4,329,936円	2,361,936円	1,968,000円	83.3%	393,936円	16.7%					
	16		5,578,836円	5,578,836円	2,277,075円	2,277 千円	1,138.5千円	6,905,237円	5,766,737円	1,138,500円	19.7%					4,628,237円	80.3%	
	17		5,949,059円	5,949,059円		5,949 千円	2,974.5千円	5,949,059円	2,974,559円	2,974,500円	100.0%					59円		
合計			196,210,535円	196,210,535円	133,410,745円	139,353 千円	69,676千円	210,912,176円	141,235,676円	69,676,000円	49.3%	66,930,880円	47.4%					

4.（表2） 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額（地域間幹線系統用）

事業者名	産交バス株式会社
------	----------

R7

1. 申請事業者の概要

補助対象期間の 前々年度(基準期間※)の 損益状況	乗合バス事業						R5
	営業収益	683,514千円	営業外収益	60,974千円	経常収益(イ)	744,488千円	
	営業費用	2,978,817千円	営業外費用	9,562千円	経常費用(ロ)	2,988,379千円	
	営業損益	△ 2,295,303千円	営業外損益	51,412千円	経常損益	△ 2,243,891千円	
補助対象期間の 前々年度の 実車走行キロ(ハ)	9,585,089.5 km					経常収支率 24.91 %	

基準期間の前年度の 損益状況	乗合バス事業						R4
	営業収益	612,272千円	営業外収益	139,517千円	経常収益(イ)	751,789千円	
	営業費用	2,941,670千円	営業外費用	13,028千円	経常費用(ロ)	2,954,698千円	
	営業損益	△ 2,329,398千円	営業外損益	126,489千円	経常損益	△ 2,202,909千円	
基準期間の前年度の 実車走行キロ(ハ')	9,747,181.1 km					経常収支率 25.44 %	

基準期間の前々年度の 損益状況	乗合バス事業						R3
	営業収益	607,401千円	営業外収益	87,948千円	経常収益(イ)	695,349千円	
	営業費用	2,899,692千円	営業外費用	11,791千円	経常費用(ロ)	2,911,483千円	
	営業損益	△ 2,292,291千円	営業外損益	76,157千円	経常損益	△ 2,216,134千円	
基準期間の前々年度の 実車走行キロ(ハ")	10,143,891.0 km					経常収支率 23.88 %	

（補助対象事業者の「基準期間※を最終年度とする連続した過去3年間」における実車走行キロ当たり経常費用等）

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 （基準期間の前々年度） ロ"÷ハ"＝a	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 （基準期間の前年度） ロ'÷ハ'＝b	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 （基準期間） ロ÷ハ＝c
南九州	287円.01銭	303円.13銭	311円.77銭

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

2. キロ当たり補助対象経常費用及び経常収益

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キ ロ当たり経常費用 (a+b+c)/3= ニ	地域キロ当たり 標準経常費用 ホ	キロ当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 ヘ	キロ当たり経常収益 イ÷ハ=ト
南九州	300円.63銭	330円.72銭	300円.63銭	77円.67銭

3. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

産交バス株式会社

R7

補助 ブロック 名	申請 番号	特 例 措 置	運行 系統名	運行系統			計画運 行日数	計画運行回数 ( )	計画平 均乗車 密度	計画輸 送量	系統キロ程		地域公共交通再編事業を 実施する区域におけるキロ 程		系統キロ程と地 域公共交通再編 事業を実施する 区域におけるキ ロ程との比率	補助ブロック外 乗入部分のキロ程		同一補助ブロック都道府県 外乗入部分のキロ程		他路線との競合 部分に係るキロ程		他路線との競合 率	補助ブロック外乗 入部分、同一補 助ブロック都道府 県外乗入部分及 び他路線との競 合部分以外のキ ロ程の比率  (チー(リ+ヌ+ ル))÷チ=ヲ
				起点	主な 経由地	終点		①=カッコ内	②	①×② =③	チ		オ		オ÷チ=ク	リ		ヌ		ル		ル÷チ	
南 九 州	1		健軍・東無田經由 熊本・御船線	桜町 バスターミナル	健軍 東無田入口	御船	365日	2,480.0回 (6.7回)	2.4	16.0人	往20.0km 復20.0km	(平均) 20.0km		(平均)			(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	2		河内經由 熊本・小天線	桜町 バスターミナル	西区役所前 河内亀石	小天温泉	365日	4,229.0回 (11.5回)	3.4	39.1人	往22.5km 復22.5km	(平均) 22.5km		(平均)			(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	3		植木・大倉經由 熊本・玉名線	桜町 バスターミナル	植木 木葉駅前 大倉団地入口	玉名駅前	362日	2,046.0回 (5.6回)	3.2	17.9人	往29.1km 復28.2km	(平均) 28.6km		(平均)			(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	4		菊池經由 山鹿・大津線	山鹿 バスセンター	菊池ブラザ 翔陽高校入口	肥後大津駅	365日	3,082.0回 (8.4回)	2.4	20.1人	往35.9km 復35.8km	(平均) 35.8km		(平均)			(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	5		労働庁舎・鬼池港経 由 本渡・富岡線	本渡 バスセンター	労働庁舎前 鬼池港 苓北町役場前	富岡港	365日	3,270.5回 (8.9回)	2.0	17.8人	往33.3km 復33.3km	(平均) 33.3km		(平均)			(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	6		セントラル病院經由 本渡・鬼池線	本渡 バスセンター	天草警察署総合 庁舎前 セントラル病院前	鬼池港	365日	1,819.0回 (4.9回)	0.9	4.4人	往13.6km 復13.6km	(平均) 13.6km		(平均)			(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	7		一町田中央・久玉経 由 本渡・牛深線	本渡 バスセンター	新合 一町田中央 久玉	牛深市民病院	365日	3,638.0回 (9.9回)	1.3	12.8人	往55.2km 復55.2km	(平均) 55.2km		(平均)			(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	8		桜山經由 玉名市役所・荒尾線	玉名市役所前	玉名駅前 桜山	バスセンター	365日	4,345.0回 (11.9回)	2.1	24.9人	往20.0km 復19.3km	(平均) 19.6km		(平均)			(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	9		堅志田經由 松橋・砥用線	松橋駅前	松橋産交 堅志田	砥用中央	365日	3,620.0回 (9.9回)	1.3	12.8人	往22.6km 復22.6km	(平均) 22.6km		(平均)			(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	10		日奈久經由 八代・田浦線	八代市役所前	八代工業高校前 日奈久温泉前	道の駅たのうら	365日	2,905.0回 (7.9回)	2.1	16.5人	往26.6km 復26.6km	(平均) 26.6km		(平均)			(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	11		道尻經由 阿蘇環状線	阿蘇医療セン ター	阿蘇駅前 道尻	阿蘇駅前	365日	5,559.0回 (15.2回)	1.5	22.8人	往23.3km 往23.3km	(平均) 23.3km		(平均)			(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	12		テクノ団地經由 熊本・高森線	西部車庫	桜町バスターミナル テクノ団地入口	高森駅交流施設	365日	1,095.0回 (3.0回)	7.3	21.9人	往60.0km 往58.3km	(平均) 59.1km		(平均)			(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
合計			12系統								往362.1km 復358.7km	(平均) 360.2km		(平均)			(平均)		(平均)		(平均)		



補助 ブロック 名	申 請 番 号	特 例 措 置	補助ブロック外乗入 部分及び同一補助ブ ロック都道府県外乗 入部分以外のキロ程 の比率  (チー(リ＋ヌ)÷チニ ヲ)	計画実車走行 キロ  ワ	補助対象 経常費用 の見込額  ヘ×ワ以下の額: カ	補助対象系統のキロ当たり経常収益									補助対象系統の 経常収益の見込 額  ノ×ワ以上の額: ヨ	補助対象経常 費用から経常 収益を控除した 額  カーヨ＝タ	補助対象経費 の限度額  カ×9/20＝レ	タ又はレのうちい ずれか少ないほう の額  ソ	
						(d＋e＋f)/3＝ノ	基準期間の前々年度			基準期間の前年度			基準期間						
							経常収益 ヤ〃	実車走行 キロ マ〃	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ〃÷マ〃＝d	経常収益 ヤ'	実車走行 キロ マ'	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ'÷マ'＝e	経常収益 ヤ	実車走行 キロ マ					補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ÷マ＝f
南 九 州	1		100.000%	99,200.0km	29,822,496円	132円.51銭	13,434,255円	99,239.0km	135円.37銭	13,364,790円	98,800.0km	135円.27銭	12,524,361円	98,700.0 km	126円.89銭	13,144,992円	16,677,504円	13,420,123円	13,420,123円
	2		100.000%	194,887.8km	58,589,119円	155円.88銭	30,372,456円	193,855.7km	156円.67銭	30,559,212円	194,446.8km	157円.15銭	29,971,121円	194,840.9 km	153円.82銭	30,379,110円	28,210,009円	26,365,103円	26,365,103円
	3		100.000%	117,235.8km	35,244,598円	155円.16銭	19,021,066円	117,694.2km	161円.61銭	18,805,192円	117,350.4km	160円.24銭	16,892,775円	117,606.9 km	143円.63銭	18,190,306円	17,054,292円	15,860,069円	15,860,069円
	4		100.000%	220,979.4km	66,433,037円	99円.92銭	30,336,553円	268,444.8km	113円.00銭	25,750,775円	267,693.1km	96円.19銭	24,451,258円	269,965.4 km	90円.57銭	22,080,261円	44,352,776円	29,894,866円	29,894,866円
	5		100.000%	217,815.3km	65,481,813円	77円.84銭	21,934,453円	306,328.0km	71円.60銭	23,842,042円	304,086.0km	78円.40銭	21,788,426円	260,808.4 km	83円.54銭	16,954,742円	48,527,071円	29,466,815円	29,466,815円
	6		100.000%	49,476.8km	14,874,210円	64円.74銭	6,346,296円	97,500.0km	65円.09銭	6,678,019円	96,603.0km	69円.12銭	4,375,926円	72,914.0 km	60円.01銭	3,203,128円	11,671,082円	6,693,394円	6,693,394円
	7		100.000%	401,635.2km	120,743,590円	54円.60銭	20,644,737円	401,334.0km	51円.44銭	23,465,191円	399,427.2km	58円.74銭	21,404,507円	399,040.8 km	53円.63銭	21,929,281円	98,814,309円	54,334,615円	54,334,615円
	8		100.000%	170,926.5km	51,385,633円	115円.47銭	20,103,074円	171,242.3km	117円.39銭	20,480,458円	170,770.7km	119円.92銭	18,690,052円	171,300.9 km	109円.10銭	19,736,882円	31,648,751円	23,123,534円	23,123,534円
	9		100.000%	165,909.4km	49,877,342円	73円.56銭	12,506,551円	166,324.0km	75円.19銭	12,925,276円	165,699.0km	78円.00銭	11,178,385円	165,570.4 km	67円.51銭	12,204,295円	37,673,047円	22,444,803円	22,444,803円
	10		100.000%	154,546.0km	46,461,163円	73円.65銭	14,501,958円	154,625.8km	93円.78銭	10,355,098円	153,322.4km	67円.53銭	9,166,892円	153,641.6 km	59円.66銭	11,382,312円	35,078,851円	20,907,523円	20,907,523円
	11		100.000%	126,354.0km	37,985,803円	49円.33銭	5,592,727円	138,494.1km	40円.38銭	6,581,661円	126,211.8km	52円.14銭	7,035,457円	126,805.8 km	55円.48銭	6,233,042円	31,752,761円	17,093,611円	17,093,611円
	12		100.000%	129,538.5km	38,943,159円	183円.11銭	27,535,711円	172,213.2km	159円.89銭	26,353,330円	150,232.2km	175円.41銭	27,628,375円	129,074.4 km	214円.04銭	23,719,794円	15,223,365円	17,524,421円	15,223,365円
合計				2,048,504.7km	615,841,963円		222,329,837円	2,287,295.1km		219,161,044円	2,244,642.6km		205,107,535円	2,160,269.5km		199,158,145円	416,683,818円	277,128,877円	274,827,821円

産交バス株式会社

R7

補助 ブ ロ ッ ク 名	申 請 番 号	特 例 措 置	ソのうち補助ブ ロック外乗入部分、同一補 助ブロック都道府県 外乗入部分及び他路 線との競合部分以外 に係るもの	ソのうち補助ブ ロック外乗入部分 及び同一補助ブ ロック都道府県外 乗入部分以外に 係るもの	計画平均乗車 密度が5人 未満の路線	補助対象経費	計画額	経常費用から 経常収益を控除 した額	損失額から国庫 補助額を控除し た額	ウの負担者とその負担割合								
										都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担		「その他の者」の 具体的概要
										負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	
南 九 州	1		13,420,123円	13,420,123円	6,009,010円	6,009 千円	3,004.5千円	16,677,504円	13,673,004円	3,004,500円	22.0%	10,668,504円	78.0%					
	2		26,365,103円	26,365,103円	16,048,323円	16,048 千円	8,024.0千円	28,210,009円	20,186,009円	8,024,000円	39.8%	12,162,009円	60.2%					
	3		15,860,069円	15,860,069円	8,496,465円	8,496 千円	4,248.0千円	17,054,292円	12,806,292円	4,248,000円	33.2%	8,558,292円	66.8%					
	4		29,894,866円	29,894,866円	14,235,650円	14,235 千円	7,117.5千円	44,352,776円	37,235,276円	7,117,500円	19.1%	30,117,776円	80.9%					
	5		29,466,815円	29,466,815円	9,932,634円	9,932 千円	4,966.0千円	48,527,071円	43,561,071円	4,966,000円	11.4%	38,595,071円	88.6%					
	6		6,693,394円	6,693,394円				11,671,082円	11,671,082円				100.0%					
	7		54,334,615円	54,334,615円	10,976,689円	10,976 千円	5,488.0千円	98,814,309円	93,326,309円	5,488,000円	5.9%	87,838,309円	94.1%					
	8		23,123,534円	23,123,534円	7,772,616円	7,772 千円	3,886.0千円	31,648,751円	27,762,751円	3,886,000円	14.0%	23,876,751円	86.0%					
	9		22,444,803円	22,444,803円	4,534,303円	4,534 千円	2,267.0千円	37,673,047円	35,406,047円	2,267,000円	6.4%	33,139,047円	93.6%					
	10		20,907,523円	20,907,523円	7,939,565円	7,939 千円	3,969.5千円	35,078,851円	31,109,351円	3,969,500円	12.8%	27,139,851円	87.2%					
	11		17,093,611円	17,093,611円	4,498,318円	4,498 千円	2,249.0千円	31,752,761円	29,503,761円	2,249,000円	7.6%	27,254,761円	92.4%					
	12		15,223,365円	15,223,365円		15,223 千円	7,611.5千円	15,223,365円	7,611,865円	7,611,500円	100.0%					365円		
合計			274,827,821円	274,827,821円	90,443,573円	105,662 千円	52,831千円	416,683,818円	363,852,818円	52,831,000円	14.5%	311,021,453円	85.5%					

4.（表2） 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額（地域間幹線系統用）

事業者名	熊本電気鉄道株式会社	R7
------	------------	----

1. 申請事業者の概要

補助対象期間の 前々年度(基準期間※)の 損益状況	乗合バス事業						R5
	営業収益	746,634千円	営業外収益	7,741千円	経常収益(イ)	754,375千円	
	営業費用	956,213千円	営業外費用	9,596千円	経常費用(ロ)	965,809千円	
	営業損益	△ 209,579千円	営業外損益	△ 1,855千円	経常損益	△ 211,434千円	
補助対象期間の 前々年度の 実車走行キロ(ハ)	2,365,826.0 km					経常収支率	78.10 %

基準期間の前年度の 損益状況	乗合バス事業						R4
	営業収益	690,174千円	営業外収益	4,531千円	経常収益(イ')	694,705千円	
	営業費用	918,557千円	営業外費用	9,920千円	経常費用(ロ')	928,477千円	
	営業損益	△ 228,383千円	営業外損益	△ 5,389千円	経常損益	△ 233,772千円	
基準期間の前年度の 実車走行キロ(ハ')	2,396,959.7 km					経常収支率	74.82 %

基準期間の前々年度の 損益状況	乗合バス事業						R3
	営業収益	647,791千円	営業外収益	3,344千円	経常収益(イ'')	651,135千円	
	営業費用	906,985千円	営業外費用	12,859千円	経常費用(ロ'')	919,844千円	
	営業損益	△ 259,194千円	営業外損益	△ 9,515千円	経常損益	△ 268,709千円	
基準期間の前々年度の 実車走行キロ(ハ'')	2,495,300.7 km					経常収支率	70.78 %

15

（補助対象事業者の「基準期間※を最終年度とする連続した過去3年間」における実車走行キロ当たり経常費用等）

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 （基準期間の前々年度） ロ''÷ハ''=a	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 （基準期間の前年度） ロ'÷ハ'=b	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 （基準期間） ロ÷ハ=c
南九州	368円.63銭	387円.35銭	408円.23銭

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

2. キロ当たり補助対象経常費用及び経常収益

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キ ロ当たり経常費用 (a+b+c)/3=ニ	地域キロ当たり 標準経常費用 ホ	キロ当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 ヘ	キロ当たり経常収益 イ÷ハ=ト
南九州	388円.07銭	330円.72銭	330円.72銭	318円.86銭

3. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

熊本電気鉄道株式会社

R7

補 助 ブ ロ ッ ク 名	申 請 番 号	特 例 措 置	運 行 系 統 名	運行系統			計画運 行日数	計画運行回数 ( )  ①=カッコ内	計画平均乗車 密度  ②	計画輸 送量  ①×② =③	系統キロ程		地域公共交通再編事業を 実施する区域におけるキロ 程		系統キロ程と地域 公共交通再編事 業を実施する区 域におけるキロ程 との比率  オ÷チ=ク	補助ブロック外 乗入部分のキロ程		同一補助ブロック都道府県 外乗入部分のキロ程		他路線との競合 部分に係るキロ程		他路線との競合 率  ル÷チ	補助ブロック外乗 入部分、同一補助 ブロック都道府県 外乗入部分及び 他路線との競合 部分以外のキロ 程の比率  (チー(リ+ヌ+ ル))÷チ=ヲ
				起点	主な 經由地	終点					チ		オ			リ		ヌ		ル			
											往17.2km 復17.2km	(平均) 17.2km		(平均)			(平均)		(平均)	往12.3km 復12.3km	(平均) 12.3km		
南九州	1		377新地団地線 (合志市役所)	桜町BT	三軒町 新地団地	合志市役所	362日	1,448.0回 (4.0回)	5.6	22.4人	往17.2km 復17.2km	(平均) 17.2km		(平均)			(平均)		(平均)	往12.3km 復12.3km	(平均) 12.3km	% 71.511	% 28.488
合計			1系統								往17.2km 復17.2km	(平均) 17.2km		(平均)			(平均)		(平均)	往12.3km 復12.3km	(平均) 12.3km		

補助 ブロック 名	申請 番号	特 例 措 置	補助ブロック外乗 入部分及び同一 補助ブロック都道 府県外乗入部分 以外のキロ程の 比率  (チー(リ+ヌ)÷ チ=ヲ')	計画実車走行 キロ  ワ	補助対象 経常費用 の見込額  ヘ×ワ以下の額: カ	補助対象系統のキロ当たり経常収益									補助対象系統の 経常収益の見込 額  ノ×ワ以上の額: ヨ	補助対象経常 費用から経常 収益を控除した額  カーヨ=タ	補助対象経費 の限度額  カ×9/20=レ	タ又はレのうちい ずれか少ないほう の額  ソ	
						基準期間の前々年度			基準期間の前年度			基準期間							
						経常収益 ヤ''	実車走行 キロ マ''	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ''÷マ''=d	経常収益 ヤ'	実車走行 キロ マ'	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ'÷マ'=e	経常収益 ヤ	実車走行 キロ マ	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ÷マ=f					
南九州	1		100.000%	49,811.2km	16,473,560円	274円.06銭	12,633,150円	49,811.2km	253円.62銭	13,935,611円	49,536.0km	281円.32銭	14,308,221円	49,811.2 km	287円.24銭	13,651,257円	2,822,303円	7,413,102円	2,822,303円
合計				49,811.2km	16,473,560円		12,633,150円	49,811.2km		13,935,611円	49,536.0km		14,308,221円	49,811.2km		13,651,257円	2,822,303円	7,413,102円	2,822,303円

補助 ブロック 名	申請 番号	特例 措置	ソのうち補助ブ ロック外乗入部 分、同一補助ブ ロック都道府県外 乗入部分及び他 路線との競合部 分以外に係るも の  ソ×ヲ=ツ	ソのうち補助ブ ロック外乗入部分 及び同一補助ブ ロック都道府県外 乗入部分以外に 係るもの  ソ×ヲ' =ツ'	計画平均乗車 密度が5人 未満の路線  ツ×みなし運行回 数／①計画運行 回数=ホ	補助対象経費  ナ	計画額  ナ×1/2=ラ	経常費用から 経常収益を控除 した額  ニ×ワーヨ=ム	損失額から国庫 補助額を控除した 額  ムーラ=ウ	ウの負担者とその負担割合								
										都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担		「その他の者」の 具体的概要
										負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	
南九州	1		804,017円	2,822,303円		804 千円	402.0千円	5,678,975円	5,276,975円	402,000円	7.6%					4,874,975円	92.4%	
合計			804,017円	2,822,303円		804 千円	402千円	5,678,975円	5,276,975円	402,000円	7.6%					4,874,975円	92.4%	

4. 表2 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額（地域間幹線系統用）

事業者名	西鉄バス大牟田株式会社	R7
------	-------------	----

1. 申請事業者の概要

補助対象期間の 前々年度(基準期間※)の 損益状況	乗合バス事業						R5
	営業収益	211,905千円	営業外収益	16,468千円	経常収益(イ)	228,373千円	
	営業費用	340,536千円	営業外費用	687千円	経常費用(ロ)	341,223千円	
	営業損益	△ 128,631千円	営業外損益	15,781千円	経常損益	△ 112,850千円	
補助対象期間の 前々年度の 実車走行キロ(ハ)	1,114,650.9 km					経常収支率 66.92 %	

基準期間の前年度の 損益状況	乗合バス事業						R4
	営業収益	215,424千円	営業外収益	5,541千円	経常収益(イ)	220,965千円	
	営業費用	320,805千円	営業外費用	684千円	経常費用(ロ)	321,489千円	
	営業損益	△ 105,381千円	営業外損益	4,857千円	経常損益	△ 100,524千円	
基準期間の前年度の 実車走行キロ(ハ')	1,106,626.2 km					経常収支率 68.73 %	

基準期間の前々年度の 損益状況	乗合バス事業						R3
	営業収益	209,226千円	営業外収益	2,521千円	経常収益(イ)	211,747千円	
	営業費用	322,079千円	営業外費用	579千円	経常費用(ロ)	322,658千円	
	営業損益	△ 112,853千円	営業外損益	1,942千円	経常損益	△ 110,911千円	
基準期間の前々年度の 実車走行キロ(ハ'')	1,136,393.4 km					経常収支率 65.62 %	

（補助対象事業者の「基準期間※を最終年度とする連続した過去3年間」における実車走行キロ当たり経常費用等）

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用 (基準期間の前々年度) ロ''÷ハ''=a	補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用 (基準期間の前年度) ロ'÷ハ'=b	補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用 (基準期間) ロ÷ハ=c
南九州	283円.93銭	290円.51銭	306円.12銭

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

2. キロ当たり補助対象経常費用及び経常収益

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ 当たり経常費用 (a+b+c)/3=ニ	地域キロ当たり 標準経常費用 ホ	キロ当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 ヘ	キロ当たり経常収益 イ÷ハ=ト
南九州	293円.52銭	330円.72銭	293円.52銭	204円.88銭

3. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

西鉄バス大牟田株式会社

R7

補助 ブ ロ ッ ク 名	申 請 番 号	特 例 措 置	運行 系統名	運行系統			計画運 行日数	計画運行回数 ( )	計画平均乗車 密度	計画輸 送量	系統キロ程		地域公共交通再編事業を 実施する区域におけるキロ 程	系統キロ程と地域 公共交通再編事 業を実施する区 域におけるキロ程 との比率	補助ブロック外 乗入部分のキロ程		同一補助ブロック都道府県 外乗入部分のキロ程		他路線との競合 部分に係るキロ程		他路線との競合 率	補助ブロック外乗 入部分、同一補助 ブロック都道府県 外乗入部分及び 他路線との競合 部分以外のキロ 程の比率  (チー(リ+ヌ+ ル))÷チ=ヲ
				起点	主な 終由地	終点					チ	オ			オ÷チ=ク	リ	ヌ	ル	ル÷チ			
南 九 州	1		西鉄大牟田営業所 ～大牟田市立病院・ 上町～庄山	西鉄大牟田	大牟田市立病院	庄山	365日	2,795.0回 (7.6回)	1.5	11.4人	往10.5km 復10.5km	(平均) 10.5km		(平均)		往10.4km 復10.4km	(平均) 10.4km		(平均)		(平均)	%  0.952
	2		西鉄大牟田営業所 ～延命公園動物園 前・大牟田市立病 院・新大牟田駅～南 関町役場	西鉄大牟田	大牟田市立病院・ 田隈	南関	365日	5,033.0回 (13.7回)	2.6	35.6人	往18.8km 復18.8km	(平均) 18.8km		(平均)		往15.1km 復15.1km	(平均) 15.1km		(平均)		(平均)	%  19.680
	3		荒尾駅前～右京 町～久福木団地	荒尾駅前	右京町	久福木団地	365日	3,707.0回 (10.1回)	3.9	39.3人	往11.7km 往11.8km	(平均) 11.7km		(平均)		往10.3km 復10.4km	(平均) 10.3km		(平均)		(平均)	%  11.965
	4		荒尾駅前～天領 橋・高泉団地～三 池中町	荒尾駅前	天領橋・高泉団地	三池中町	365日	3,793.5回 (10.3回)	3.8	39.1人	往11.0km 往11.0km	(平均) 11.0km		(平均)		往9.6km 復9.6km	(平均) 9.6km		(平均)		(平均)	%  12.727
合計			4系統								往52.0km 復52.1km	(平均) 52.0km		(平均)		往45.4km 復45.5km	(平均) 45.4km		(平均)		(平均)	





4.（表2） 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額（地域間幹線系統用）

事業者名	南国交通株式会社
------	----------

R7

1. 申請事業者の概要

補助対象期間の 前々年度(基準期間※)の 損益状況	乗合バス事業						R5
	営業収益	2,295,646千円	営業外収益	7,839千円	経常収益(イ)	2,303,485千円	
	営業費用	2,741,880千円	営業外費用	9,159千円	経常費用(ロ)	2,751,039千円	
	営業損益	△ 446,234千円	営業外損益	△ 1,320千円	経常損益	△ 447,554千円	
補助対象期間の 前々年度の 実車走行キロ(ハ)	9,010,733.5 km					経常収支率	83.73 %

基準期間の前年度の 損益状況	乗合バス事業						R4
	営業収益	2,036,629千円	営業外収益	16,016千円	経常収益(イ')	2,052,645千円	
	営業費用	2,821,745千円	営業外費用	10,050千円	経常費用(ロ')	2,831,795千円	
	営業損益	△ 785,116千円	営業外損益	5,966千円	経常損益	△ 779,150千円	
基準期間の前年度の 実車走行キロ(ハ')	9,397,925.6 km					経常収支率	72.48 %

基準期間の前々年度の 損益状況	乗合バス事業						R3
	営業収益	1,731,426千円	営業外収益	11,703千円	経常収益(イ'')	1,743,129千円	
	営業費用	2,811,457千円	営業外費用	7,334千円	経常費用(ロ'')	2,818,791千円	
	営業損益	△ 1,080,031千円	営業外損益	4,369千円	経常損益	△ 1,075,662千円	
基準期間の前々年度の 実車走行キロ(ハ'')	8,868,335.9 km					経常収支率	61.83 %

（補助対象事業者の「基準期間※を最終年度とする連続した過去3年間」における実車走行キロ当たり経常費用等）

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 （基準期間の前々年度） ロ''÷ハ''=a	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 （基準期間の前年度） ロ'÷ハ'=b	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 （基準期間） ロ÷ハ=c
南九州	317円.84銭	301円.32銭	305円.30銭

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

2. キロ当たり補助対象経常費用及び経常収益

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キ ロ当たり経常費用 (a+b+c)/3= ニ	地域キロ当たり 標準経常費用 ホ	キロ当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 ヘ	キロ当たり経常収益 イ÷ハ=ト
南九州	308円.15銭	330円.72銭	308円.15銭	255円.63銭

3. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

南国交通株式会社

R7

補助ブロック名	申請番号	特例措置	運行系統名	運行系統			計画運行日数	計画運行回数 ( )  ①＝カッコ内	計画平均乗車密度  ②	計画輸送量  ①×②＝③	系統キロ程		地域公共交通再編事業を実施する区域におけるキロ程	系統キロ程と地域公共交通再編事業を実施する区域におけるキロ程との比率  オ÷チ＝ク	補助ブロック外乗入部分のキロ程		同一補助ブロック都道府県外乗入部分のキロ程	他路線との競合部分に係るキロ程		他路線との競合率  ル÷チ	補助ブロック外乗入部分、同一補助ブロック都道府県外乗入部分及び他路線との競合部分以外のキロ程の比率  (チー(リ＋ヌ＋ル))÷チ＝ヲ	
				起点	主な経由地	終点					系統キロ程				補助ブロック外乗入部分のキロ程			他路線との競合部分に係るキロ程				
											チ	オ			リ	ヌ		ル	ル÷チ			
南九州	1		水俣線(佐潟口・水俣車庫線)	佐潟口	出水	水俣車庫	365日	2,795.0回 (7.6回)	3.2	24.3人	往43.0km 復43.0km	(平均) 43.0km		(平均)		(平均)	往33.9km 復33.9km	(平均) 33.9km		(平均)	%	% 21.162
合計			1系統								往43.0km 復43.0km	(平均) 43.0km		(平均)		(平均)	往33.9km 復33.9km	(平均) 33.9km		(平均)		

南国交通株式会社

R7

補助 ブロック 名	申 請 番 号	特 例 措 置	補助ブロック外乗 入部分及び同一 補助ブロック都道 府県外乗入部分 以外のキロ程の 比率  (チー(リ+ヌ)÷ チ=ヲ')	計画実車走行 キロ  ワ	補助対象 経常費用 の見込額  ヘ×ワ以下の額: カ	補助対象系統のキロ当たり経常収益									補助対象系統の 経常収益の見込 額  ノ×ワ以上の額: ヨ	補助対象経常 費用から経常 収益を控除した 額  カーヨ=タ	補助対象経費 の限度額  カ×9/20=レ	タ又はレのうちい ずれか少ないほう の額  ソ	
						基準期間の前々年度			基準期間の前年度			基準期間							
						経常収益 ヤ''	実車走行 キロ マ''	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ''÷マ''=d	経常収益 ヤ'	実車走行 キロ マ'	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ'÷マ'=e	経常収益 ヤ	実車走行 キロ マ	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ÷マ=f					
南九州	1		21.162%	240,370.0km	74,070,015円	97円.27銭	23,510,540円	260,838.0km	90円.13銭	24,380,489円	260,150.0km	93円.71銭	26,930,383円	249,400.0 km	107円.98銭	23,380,789円	50,689,226円	33,331,506円	33,331,506円
合計				240,370.0km	74,070,015円		23,510,540円	260,838.0km		24,380,489円	260,150.0km		26,930,383円	249,400.0km		23,380,789円	50,689,226円	33,331,506円	33,331,506円

南国交通株式会社

R7

補助 ブ ロ ッ ク 名	申 請 番 号	特 例 措 置	ソのうち補助ブ ロック外乗入部 分、同一補助ブ ロック都道府県外 乗入部分及び他 路線との競合部 分以外に係るも の  ソ×ヲ=ツ	ソのうち補助ブ ロック外乗入部 分及び同一補助ブ ロック都道府県外 乗入部分以外に 係るもの  ソ×ヲ’=ツ’	計画平均乗車 密度が5人 未満の路線  ツ×みなし運行 回数／①計画運 行回数=ネ	補助対象経費  ナ	計画額  ナ×1/2=ラ	経常費用から 経常収益を控除 した額  ニ×ワ-ヨ=ム	損失額から国庫 補助額を控除し た額  ム-ラ=ウ	ウの負担者とその負担割合								
										都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担		「その他の者」の 具体的概要
										負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	
南九州	1		7,053,613円	7,053,613円	3,712,427円	3,712 千円	1,856.0千円	50,689,226円	48,833,226円	1,856,000円	3.8%	3,674,000円	7.5%	20,600,000円	42.2%	22,703,226円	46.5%	鹿児島県側国庫及び 鹿児島県
合計			7,053,613円	7,053,613円	3,712,427円	3,712 千円	1,856千円	50,689,226円	48,833,226円	1,856,000円	3.8%	3,674,000円	7.5%	20,600,000円	42.2%	22,703,226円	46.5%	

5. (表3)別表1の補助事業の基準二に基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧

都道府県名	広域行政圏名	市町村名	指定の理由
熊本県	宇城	宇城市 (旧松橋町)	要綱上の宇城広域行政圏の中心市町村は宇土市であるが、宇城市は、平成17年に5町が合併し、旧松橋町はその中心として発展している。 また、総合病院等の医療機関や県立高校及び大型商業施設、バスターミナルがあることから、周辺地域からの乗合バスによる流入人口は他の中心市町村と比較しても遜色がないため、中心市町村に準ずる市町村としたもの。

6. (表4)同一の補助対象系統として取り扱うことを協議会が特に認めた運行系統の範囲について

都道府県名	事業者名	申請番号	主運行系統名	主運行系統			計画運行日数	計画運行回数 ( )	計画平均乗車密度	計画輸送量	系統キロ程		主運行系統と同一の補助対象系統として取り扱う系統 異なる区間	計画運行日数	計画運行回数 ( )	計画平均乗車密度	計画輸送量	系統キロ程		主運行系統と異なるキロ程	主運行系統と異なる割合	協議会が必要と認める理由
				起点	主な経由地	終点																
熊本県	産交バス(株)	9	堅志田経由松橋・砥用線	松橋駅前	松橋産交堅志田	砥用中央	365 日	3,327.0 回 ( 9.1 回)	1.3	11.8 人	往22.6 Km 復22.6 Km		宇土本町二丁目～松橋駅前	365 日	293.0 回 ( 0.8 回)	1.3	1.0 人	往26.5 Km 復26.5 Km		4.3 km	19.0%	主系統と同様に砥用方面からの通院・通学の目的で利用されていることから、同一系統と判断。

＜参考＞基本的な取扱い(主系統と異なる区間のキロ程が10%以内かつ10km以内)として、同一補助対象系統とみなすもの

都道府県名	事業者名	申請番号	主運行系統名	主運行系統			計画運行日数	計画運行回数 ( )	計画平均乗車密度	計画輸送量	系統キロ程		主運行系統と同一の補助対象系統として取り扱う系統 異なる区間	計画運行日数	計画運行回数 ( )	計画平均乗車密度	計画輸送量	系統キロ程		主運行系統と異なるキロ程	主運行系統と異なる割合
				起点	主な経由地	終点															
熊本県	産交バス(株)	2	河内経由熊本・小天線	桜町バスターミナル	西区役所前河内亀石	小天温泉	365 日	3,023.0 回 ( 8.2 回)	3.4	27.8 人	往22.5 Km 復22.5 Km		小天温泉～天水支所	365 日	1,206.0 回 ( 3.3 回)	3.4	11.2 人	往24.4 Km 復24.4 Km		1.9 km	8.4%
		11	道尻経由阿蘇環状線	阿蘇医療センター	阿蘇駅前道尻	阿蘇駅前	365 日	3,120.0 回 ( 8.5 回)	1.5	12.7 人	往23.3 Km 復23.3 Km		阿蘇医療センター～阿蘇駅前	365 日	2,439.0 回 ( 6.6 回)	1.5	9.9 人	往22.0 Km 復22.0 Km		1.3 km	5.5%
	西鉄バス大牟田(株)	1	西鉄大牟田営業所～大牟田市立病院・上町～庄山	西鉄大牟田	大牟田市立病院・上町	庄山	365 日	1,920.0 回 ( 5.2 回)	1.5	7.8 人	往10.5 Km 復10.5 Km		延命公園・動物園前	365 日	875.0 回 ( 2.3 回)	1.5	3.4 人	往10.2 Km 復10.2 Km		0.3 km	2.8%
		2	西鉄大牟田営業所～延命公園動物園前・大牟田市立病院・新大牟田駅～南関町役場	西鉄大牟田	動物園前・新大牟田駅	南関町役場	365 日	4,555.0 回 ( 12.4 回)	2.6	32.2 人	往18.8 Km 復18.8 Km		警察署前～文化会館前	365 日	480.0 回 ( 1.3 回)	2.6	3.3 人	往19.0 Km 復19.0 Km		0.2 km	1.0%
		4	荒尾駅前～天領橋・高泉団地～三池中町	荒尾駅	天領橋・高泉団地	三池中町	365 日	3,313.5 回 ( 9.0 回)	3.8	34.2 人	往11.0 Km 復11.0 Km		高泉団地	365 日	480.0 回 ( 1.3 回)	3.8	4.9 人	往9.9 Km 復9.9 Km		1.1 km	10.0%



7.生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項

今後の人口減少が見込まれる中で、このまま赤字額が拡大していけば、国や地方公共団体やバス事業者の負担が一層増加し、系統の維持が困難となる懸念がある。路線バス事業の生産性向上を図り、持続可能な地域公共交通ネットワークを形成することを目的とする。  
系統ごとの生産性向上の取組については、次のとおりである。

番号	事業者名	系統名	関係市町村	取組内容	実施主体	数値目標					実施時期
						増収額 (費用削減額)	【参考】 収支率 (R4)	収支率 (R5)	収支率 (R7)	収支 改善率	
1	1 熊本バス(株)	直行線	熊本市 嘉島町 御船町 山都町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・国宝通潤橋へのアクセス及び周辺の周遊についてバス車内やホームページにて広報することにより利用促進を図る（山都町） ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町 御船町 山都町	546 千円	48.47%	47.90%	48.64%	0.74%	R6年10月 ～ R7年9月
2	2 熊本バス(株)	砥用線	熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町 美里町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町） ・本系統の主要なバス停を乗継拠点と位置付け、各集落から拠点まで、乗合タクシーで乗客を集約し、継続して生産性の向上を図る（美里町）	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町 美里町	285 千円	44.91%	55.31%	56.19%	0.88%	R6年10月 ～ R7年9月
3	3 熊本バス(株)	辺場・甲佐線	熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町	217 千円	56.29%	53.50%	54.19%	0.69%	R6年10月 ～ R7年9月
4	4 熊本バス(株)	御船・甲佐線	熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町	335 千円	52.04%	57.66%	58.41%	0.75%	R6年10月 ～ R7年9月
5	5 熊本バス(株)	健軍・砥用線	熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町 美里町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町） ・本系統の主要なバス停を乗継拠点と位置付け、各集落から拠点まで、乗合タクシーで乗客を集約し、継続して生産性の向上を図る（美里町）	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町 美里町	236 千円	47.35%	49.34%	50.13%	0.79%	R6年10月 ～ R7年9月
6	6 熊本バス(株)	健軍線	熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町	434 千円	56.10%	56.84%	57.56%	0.72%	R6年10月 ～ R7年9月
7	7 熊本バス(株)	健軍・イオン線	熊本市 嘉島町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町	151 千円	48.32%	61.15%	61.95%	0.80%	R6年10月 ～ R7年9月

7.生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項

今後の人口減少が見込まれる中で、このまま赤字額が拡大していけば、国や地方公共団体やバス事業者の負担が一層増加し、系統の維持が困難となる懸念がある。路線バス事業の生産性向上を図り、持続可能な地域公共交通ネットワークを形成することを目的とする。  
系統ごとの生産性向上の取組については、次のとおりである。

番号	事業者名	系統名	関係市町村	取組内容	実施主体	数値目標					実施時期
						増収額 (費用削減額)	【参考】 収支率 (R4)	収支率 (R5)	収支率 (R7)	収支 改善率	
8	8 熊本バス(株)	宇土線	熊本市 嘉島町 宇土市	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町 宇土市	128 千円	68.12%	66.92%	67.78%	0.86%	R6年10月 ～ R7年9月
9	9 熊本バス(株)	松橋線	熊本市 嘉島町 宇城市	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町 宇城市	150 千円	58.74%	64.14%	65.03%	0.89%	R6年10月 ～ R7年9月
10	10 熊本バス(株)	画図線	熊本市 嘉島町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町	172 千円	61.40%	74.93%	75.91%	0.98%	R6年10月 ～ R7年9月
11	11 熊本バス(株)	乙女線	熊本市 嘉島町 甲佐町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町 甲佐町	211 千円	44.23%	48.49%	49.14%	0.65%	R6年10月 ～ R7年9月
12	12 熊本バス(株)	中病・イオン線	熊本市 嘉島町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町	254 千円	67.99%	77.78%	78.82%	1.04%	R6年10月 ～ R7年9月
13	13 熊本バス(株)	江津・イオン線	熊本市 嘉島町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町	352 千円	78.75%	84.79%	85.93%	1.14%	R6年10月 ～ R7年9月
14	14 熊本バス(株)	セイラ・イオン線	熊本市 嘉島町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町	341 千円	63.48%	85.44%	86.55%	1.11%	R6年10月 ～ R7年9月
15	15 熊本バス(株)	城南・志導寺線	熊本市 嘉島町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町	149 千円	71.04%	75.30%	76.30%	1.00%	R6年10月 ～ R7年9月



7.生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項

今後の人口減少が見込まれる中で、このまま赤字額が拡大していけば、国や地方公共団体やバス事業者の負担が一層増加し、系統の維持が困難となる懸念がある。路線バス事業の生産性向上を図り、持続可能な地域公共交通ネットワークを形成することを目的とする。  
系統ごとの生産性向上の取組については、次のとおりである。

番号	事業者名	系統名	関係市町村	取組内容	実施主体	数値目標					実施時期
						増収額 (費用削減額)	【参考】 収支率 (R4)	収支率 (R5)	収支率 (R7)	収支 改善率	
16	16 熊本バス(株)	健軍電停・イオン線	熊本市嘉島町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス(株) 熊本市嘉島町	75 千円	40.86%	42.73%	43.32%	0.59%	R6年10月 ～ R7年9月
17	17 熊本バス(株)	田迎・城南線	熊本市嘉島町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス(株) 熊本市嘉島町	415 千円	66.89%	109.47%	110.87%	1.40%	R6年10月 ～ R7年9月
18	1 産交バス(株)	健軍・東無田経由 熊本・御船線	熊本市御船町 益城町	・大型商業施設（サクラマチクマモト）が実施する各種イベントと連携し、利用促進に向けた取組みを実施する。 ・沿線の学校へ定期券販売説明会（中学、高校入学時期）の開催や小中学生や高齢者等を対象とした乗り方教室を実施する事で、利用促進を図る。 ・バス利用に関する広報活動について自社HPまた、関係自治体と連携して広報誌等を活用する事でより一層の利用促進を図る。	産交バス(株) 熊本市御船町 益城町	309 千円	37.75%	40.70%	41.70%	1.00%	R6年10月 ～ R7年9月
19	2 産交バス(株)	河内経由 熊本・小天線	熊本市玉名市	・関係自治体と連携しバス利用に関する広報活動周知（広報誌・自社HP）を行い、幼稚園・学校・高齢者団体などでの乗り方教室開催を積極的に展開することで、バス利用方法などをわかりやすく説明し利用促進につなげる。 ・大型商業施設（サクラマチクマモト）や近隣などで実施するイベントとも連携するとともに、メディアなども活用しながら利用促進を行う。 ・沿線の学校へ直接訪問し定期券販売、購入箇所などの説明実施や医療機関・公共施設へ隣接バス停の時刻表掲示に協力を仰ぎ利用促進を図る。	産交バス(株) 熊本市玉名市	609 千円	48.63%	49.34%	50.34%	1.00%	R6年10月 ～ R7年9月
20	3 産交バス(株)	植木・大倉 経由 熊本・玉名線	熊本市玉名市 玉東町	・関係自治体と連携しバス利用に関する広報活動周知（広報誌・自社HP）を行い、幼稚園・学校・高齢者団体などでの乗り方教室開催を積極的に展開することで、バス利用方法などをわかりやすく説明し利用促進につなげる。 ・大型商業施設（サクラマチクマモト）や近隣などで実施するイベントとも連携するとともに、メディアなども活用しながら利用促進を行う。 ・沿線の学校へ直接訪問し定期券販売、購入箇所などの説明実施や医療機関・公共施設へ隣接バス停の時刻表掲示に協力を仰ぎ利用促進を図る。	産交バス(株) 熊本市玉名市 玉東町	365 千円	47.89%	46.07%	47.07%	1.00%	R6年10月 ～ R7年9月
21	4 産交バス(株)	菊池経由 山鹿・大津線	山鹿市 菊池市 大津町	・バス利用に関する広報活動について自社HPまた、関係自治体と連携して広報誌等を活用する事でより一層の利用促進を図る。 ・利用が減る土日祝などを対象に利用者増を目的とした乗車券などの設定を検討する。 ・沿線の学校へ定期券販売説明会（中学、高校入学時期）の開催や小中学生や高齢者等を対象とした乗り方教室を実施する事で、利用促進を図る。	産交バス(株) 山鹿市 菊池市 大津町	689 千円	30.47%	29.05%	30.05%	1.00%	R6年10月 ～ R7年9月
22	5 産交バス(株)	労働庁舎・鬼池港 経由 本渡・富岡線	天草市 苓北町	・高速船や快速バスとの乗り継ぎ時刻表を作成し、バス車内や船内等にて広報を継続して実施する事で、利用促進を図る。 ・沿線の学校へ定期券販売説明会（中学、高校入学時期）の開催や小中学生や高齢者等を対象とした乗り方教室を実施する事で、利用促進を図る。 ・バスロケーションシステムや免許返納制度等のバス利用に関する広報活動について自社HPまた、関係自治体と連携して広報誌等を活用する事でより一層の利用促進を図る。	産交バス(株) 天草市 苓北町	682 千円	24.89%	26.80%	27.80%	1.00%	R6年10月 ～ R7年9月
23	6 産交バス(株)	セントラル病院 経由 本渡・鬼池線	天草市	・フェリーや快速バスとの乗り継ぎ時刻表を作成し、バス車内や船内等にて広報を継続して実施する事で、利用促進を図る。 ・沿線の学校へ定期券販売説明会（中学、高校入学時期）の開催や小中学生や高齢者等を対象とした乗り方教室を実施する事で、利用促進を図る。 ・バスロケーションシステムや免許返納制度等のバス利用に関する広報活動について自社HPまた、関係自治体と連携して広報誌等を活用する事でより一層の利用促進を図る。	産交バス(株) 天草市	155 千円	22.16%	19.25%	20.25%	1.00%	R6年10月 ～ R7年9月

7.生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項

今後の人口減少が見込まれる中で、このまま赤字額が拡大していけば、国や地方公共団体やバス事業者の負担が一層増加し、系統の維持が困難となる懸念がある。路線バス事業の生産性向上を図り、持続可能な地域公共交通ネットワークを形成することを目的とする。  
系統ごとの生産性向上の取組については、次のとおりである。

番号		事業者名	系統名	関係市町村	取組内容	実施主体	数値目標					実施時期
							増収額 （費用削減額）	【参考】 収支率 （R4）	収支率 （R5）	収支率 （R7）	収支 改善率	
24	7	産交バス(株)	一町田中央・久玉経由 本渡・牛深線	天草市	・世界遺産崎津集落への結節、また、快速バスとの乗り継ぎ時刻表などを作成し、バス車内や船内等にて広報を継続して実施する事で、利用促進を図る。 ・沿線の学校へ定期券販売説明会（中学、高校入学時期）の開催や小中学生や高齢者等を対象とした乗り方教室を実施する事で、利用促進を図る。 ・バスロケーションシステムや免許返納制度等のバス利用に関する広報活動について自社ＨＰまた、関係自治体と連携して広報誌等を活用する事でより一層の利用促進を図る。	産交バス(株) 天草市	1,246 千円	18.72%	17.20%	18.20%	1.00%	R6年10月 ～ R7年9月
25	8	産交バス(株)	桜山経由 玉名市役所・荒尾線	荒尾市 玉名市	・関係自治体と連携しバス利用に関する広報活動周知（広報誌・自社HP）を行い、幼稚園・学校・高齢者団体などでの乗り方教室開催を積極的に展開することで、バス利用方法などをわかりやすく説明し利用促進につなげる。 ・商業施設と連携を行い、イベントなどを実施し、若年層から高齢者まで幅広い年代が利用する機会を作れないか関係自治体と検討を行う。 ・沿線の学校（県立高校・私立高校・専門学校・看護大学）などへ直接訪問し定期券販売、購入箇所などの説明実施や医療機関・公共施設へ隣接バス停の時刻表掲示に協力を仰ぎ利用促進を図る。	産交バス(株) 荒尾市 玉名市	536 千円	38.17%	35.00%	36.00%	1.00%	R6年10月 ～ R7年9月
26	9	産交バス(株)	堅志田経由 松橋・砥用線	宇土市 宇城市 美里町	・乗降調査など利用状況を踏まえ、お客様の利便に即した適切な時刻・所要時分の検討を行う。 ・沿線の学校へ定期券販売説明会（中学、高校入学時期）の開催や小中学生や高齢者等を対象とした乗り方教室を実施する事で、利用促進を図る。 ・バス利用に関する広報活動について自社ＨＰまた、関係自治体と連携して広報誌等を活用する事でより一層の利用促進を図る。 ・乗合タクシー及びＪＲとの乗継拠点結節の強化及び、目的に沿った利用案内を実施する（美里町、JR）。	産交バス(株) 宇土市 宇城市 美里町	520 千円	25.73%	21.66%	22.66%	1.00%	R6年10月 ～ R7年9月
27	10	産交バス(株)	日奈久経由 八代・田浦線	八代市 芦北町	・おれんじ鉄道など他の交通機関との情報共有や調整を行い、利便性の向上を図る。 ・沿線の学校へ定期券販売説明会（中学、高校入学時期）の開催や小中学生や高齢者等を対象とした乗り方教室を実施する事で、利用促進を図る。 ・バス利用に関する広報活動について自社ＨＰ、関係自治体、商業施設、観光地と連携し利用促進を図る ・関係自治体と免許返納者への特典配布など地域住民への利用促進策を検討する。	産交バス(株) 八代市 芦北町	484 千円	21.04%	19.14%	20.14%	1.00%	R6年10月 ～ R7年9月
28	11	産交バス(株)	道尻経由 阿蘇環状線	阿蘇市	・外国人観光客のお客様向けに専用の時刻表や観光マップなどを作成し、待合所などで掲示・配布することで利用促進を図る。 ・地域内のインフォメーションセンターや観光案内所でバス利用に関する広報資料などを配布してもらうことで、イベント開催時などでのバス利用を促す。 ・沿線の学校へ定期券販売説明会（中学、高校入学時期）の開催や小中学生や高齢者等を対象とした乗り方教室を実施する事で、利用促進を図る。 ・バス利用に関する広報活動について自社ＨＰまた、関係自治体と連携して広報誌等を活用する事でより一層の利用促進を図る。	産交バス(株) 阿蘇市	396 千円	16.39%	17.80%	18.80%	1.00%	R6年10月 ～ R7年9月
29	12	産交バス(株)	テクノ団地 経由 熊本・高森線	熊本市 益城町 西原村 南阿蘇村 高森町	・利用用途に合わせた時刻表を作成し、関係自治体や観光協会、空港、大型商業施設（サクラマチクマモト）などへ時刻表で配布を依頼し利用促進を図る。 ・高森町内のバスとの接続強化を行い、利便性の向上を図る。 ・沿線の学校へ定期券販売説明会（中学、高校入学時期）の開催や小中学生や高齢者等を対象とした乗り方教室を実施する事で、利用促進を図る。 ・バス利用に関する広報活動について自社ＨＰまた、関係自治体と連携して広報誌等を活用する事でより一層の利用促進を図る。	産交バス(株) 熊本市 益城町 西原村 南阿蘇村 高森町	406 千円	57.87%	68.66%	69.66%	1.00%	R6年10月 ～ R7年9月
30	1	熊本電気鉄道(株)	377新地団地線 （合志市役所）	熊本市 菊陽町 合志市	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の戸建て住宅や集合団地等に利用案内（令和4年4月から共通定期券の導入に伴う案内を含む）のポスティング、を行い利用促進を図る。また、沿線の大学、高校を対象に、時刻表や通学定期の案内を学内掲示するとともに、新入生をターゲットに通学定期の案内を配布し、利用促進を行う。 ・バス利用に関する広報・周知活動を関係自治体のHPや広報誌を活用し、一層の利用促進を図る。 ・昨年度、熊本市により実施されたバス・電車無料の日等が継続される可能性もある為、これら公共交通利用促進施策の実施により、幹線系統の利用促進に繋げる。（菊池地域）	熊本電気鉄道(株) 熊本市 菊陽町 合志市	235 千円	76.24%	70.36%	72.00%	1.64%	R6年10月 ～ R7年9月



7. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項

今後の人口減少が見込まれる中で、このまま赤字額が拡大していけば、国や地方公共団体やバス事業者の負担が一層増加し、系統の維持が困難となる懸念がある。路線バス事業の生産性向上を図り、持続可能な地域公共交通ネットワークを形成することを目的とする。  
系統ごとの生産性向上の取組については、次のとおりである。

番号		事業者名	系統名	関係市町村	取組内容	実施主体	数値目標					実施時期
							増収額 (費用削減額)	【参考】 収支率 (R4)	収支率 (R5)	収支率 (R7)	収支 改善率	
31	1	西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～大牟田市立病院・上町～庄山	荒尾市(大牟田市)	・沿線の商業施設と連携し、利用促進に向けたイベントなどを行う。 ・春休みや夏休みなどの長期休暇および土曜・日祝日において、こども(小学生)50円バスを西鉄グループ全社で実施し、将来のバスユーザーの獲得と保護者同伴による利用者増加を図る。 ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る(継続) ・SNS、ホームページを活用し、沿線の催し情報を発信し、バス利用の促進を図る。 ・2024年3月16日 西鉄電車ダイヤ改正に合わせて乗継時間の見直しを実施した。引き続き鉄道接続を考慮した運行時間の見直しを実施する。 上記の内容を検討・実施し毎年1%、R5年度からR7年度にかけ2%の収支改善を図ることを目標とする。	西鉄バス大牟田(株)大牟田市荒尾市	108 千円	25.09%	30.40%	32.40%	2.00%	R6年10月～ R7年9月
32	2	西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～延命公園動物園前・大牟田市立病院・新大牟田駅～南関町役場	南関町(大牟田市)	・九州旅客鉄道(株)や大牟田市と連携し、鉄道接続を考慮した運行時間の見直しを検討し、利用者増を図る。 ・春休みや夏休みなどの長期休暇および土日祝日において、こども(小学生)50円バスを西鉄グループ全社で実施し、将来のバスユーザーの獲得と保護者同伴による利用者増加を図る。 ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る(継続) ・SNS、ホームページを活用し、沿線の催し情報を発信し、バス利用の促進を図る。 上記の内容を検討・実施し毎年1%、R5年度からR7年度にかけ2%の収支改善を図ることを目標とする。	西鉄バス大牟田(株)大牟田市南関町	434 千円	37.26%	37.47%	39.47%	2.00%	R6年10月～ R7年9月
33	3	西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～右京町～大牟田駅～久福木団地	荒尾市(大牟田市)	・沿線の商業施設と連携し、利用促進に向けたイベントなどを行う。 ・春休みや夏休みなどの長期休暇および土日祝日において、こども(小学生)50円バスを西鉄グループ全社で実施し、将来のバスユーザーの獲得と保護者同伴による利用者増加を図る。 ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る(継続) ・SNS、ホームページを活用し、沿線の催し情報を発信し、バス利用の促進を図る。 ・2024年3月16日 西鉄電車ダイヤ改正に合わせて乗継時間の見直しを実施した。引き続き鉄道接続を考慮した運行時間の見直しを実施する。 上記の内容を検討・実施し毎年1%、R5年度からR7年度にかけ2%の収支改善を図ることを目標とする。	西鉄バス大牟田(株)大牟田市荒尾市	348 千円	64.14%	65.18%	67.18%	2.00%	R6年10月～ R7年9月
34	4	西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～天領橋～大牟田駅～高泉団地～三池中町	荒尾市(大牟田市)	・沿線の商業施設と連携し、利用促進に向けたイベントなどを行う。 ・春休みや夏休みなどの長期休暇および土日祝日において、こども(小学生)50円バスを西鉄グループ全社で実施し、将来のバスユーザーの獲得と保護者同伴による利用者増加を図る。 ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る(継続) ・SNS、ホームページを活用し、沿線の催し情報を発信し、バス利用の促進を図る。 ・2024年3月16日 西鉄電車ダイヤ改正に合わせて乗継時間の見直しを実施した。引き続き鉄道接続を考慮した運行時間の見直しを実施する。 上記の内容を検討・実施し毎年1%、R5年度からR7年度にかけ2%の収支改善を図ることを目標とする。	西鉄バス大牟田(株)大牟田市荒尾市	345 千円	68.12%	68.26%	70.26%	2.00%	R6年10月～ R7年9月
35	1	南国交通(株)	水俣線(佐潟口・水俣車庫線)	水俣市(出水市)(阿久根市)	・R5.12運賃改定による収入を精査しつつ、新たな需要の模索や運行計画を検討する ①関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ②検索サイトやグーグルマップへの情報を提供を行っているものについては、HPで周知し利用人員増加を図る ③2025年4月を目途に実施運賃の見直しを検討	南国交通(株)水俣市	2,000 千円	23.00%	35.36%	36.56%	1.20%	R6年10月～ R7年9月

## 8. 外客来訪促進計画との整合性

本計画と外国人観光旅客の来訪の促進等による国際観光の振興に関する法律第5条に基づく「外客来訪促進計画」で定める「外国人観光旅客の円滑かつ快適な旅行のための環境の整備方針」との整合をとることで、地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統と国際観光の振興との連携を図ることを目的とする。

番号	事業者名	系統名	整備方針	整合をとるための取組み
1 1	熊本バス(株)	直行線	—	
2 2	熊本バス(株)	砥用線	—	
3 3	熊本バス(株)	辺場・甲佐線	—	
4 4	熊本バス(株)	御船・甲佐線	—	
5 5	熊本バス(株)	健軍・砥用線	—	
6 6	熊本バス(株)	健軍線	—	
7 7	熊本バス(株)	健軍・イオン線	—	
8 8	熊本バス(株)	宇土線	—	
9 9	熊本バス(株)	松橋線	—	
10 10	熊本バス(株)	画図線	—	
11 11	熊本バス(株)	乙女線	—	
12 12	熊本バス(株)	中病・イオン線	—	
13 13	熊本バス(株)	江津・イオン線	—	
14 14	熊本バス(株)	セイラ・イオン線	—	
15 15	熊本バス(株)	城南・志導寺線	—	
16 16	熊本バス(株)	健軍電停・イオン線	—	
17 17	熊本バス(株)	田迎・城南線	—	
18 1	産交バス(株)	健軍・東無田經由 熊本・御船線	—	
19 2	産交バス(株)	河内經由 熊本・小天線	—	
20 3	産交バス(株)	植木・大倉經由 熊本・玉名線	—	
21 4	産交バス(株)	菊池經由 山鹿・大津線	—	
22 5	産交バス(株)	労働庁舎・鬼池港經由 本渡・富岡線	—	
23 6	産交バス(株)	セントラル病院經由 本渡・鬼池線	—	
24 7	産交バス(株)	一町田中央・久玉經由 本渡・牛深線	—	

番号	事業者名	系統名	整備方針	整合をとるための取組み
25	8 産交バス(株)	桜山経由 玉名市役所・荒尾線	—	
26	9 産交バス(株)	堅志田経由 松橋・砥用線	—	
27	10 産交バス(株)	日奈久経由 八代・田浦線	—	
28	11 産交バス(株)	道尻経由 阿蘇環状線	—	
29	12 産交バス(株)	テクノ団地経由 熊本・高森線	—	
30	1 熊本電気鉄道(株)	377新地団地線 (合志市役所)	—	
31	1 西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～大牟田市立病院・上町～庄山	—	
32	2 西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～延命公園動物園前・大牟田市立病院・新大牟田駅～南関町役場	—	
33	3 西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～右京町～大牟田駅～久福木団地	—	
34	4 西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～天領橋～大牟田駅～高泉団地～三池中町	—	
35	1 南国交通(株)	水俣線 (佐潟口・水俣車庫線)	—	

9. 車両の取得に係る目的・必要性

番号		取得 年度	事業者名	運行系統名	目的・必要性
1	1	R4	産交バス(株)	菊池経由山鹿・大津線	当該系統を運行する車両は、車齢20年を超える車両もあり、安全性や移動円滑化の観点及び、修繕費の抑制を図るため、計画的な新車（ノンステップバス車両）への更新が必要となっている。
2	2	R4	産交バス(株)	菊池経由山鹿・大津線	当該系統を運行する車両は、車齢20年を超える車両もあり、安全性や移動円滑化の観点及び、修繕費の抑制を図るため、計画的な新車（ノンステップバス車両）への更新が必要となっている。
3	3	R7	産交バス(株)	河内経由熊本・小田線 植木・大倉経由熊本・玉名線 桜山経由玉名市役所・荒尾線	当該系統を運行する車両は、車齢20年を超える車両もあり、安全性や移動円滑化の観点及び、修繕費の抑制を図るため、計画的な新車（ノンステップバス車両）への更新が必要となっている。
4	4	R7	産交バス(株)	河内経由熊本・小田線 植木・大倉経由熊本・玉名線 桜山経由玉名市役所・荒尾線	当該系統を運行する車両は、車齢20年を超える車両もあり、安全性や移動円滑化の観点及び、修繕費の抑制を図るため、計画的な新車（ノンステップバス車両）への更新が必要となっている。
5	1	R5	熊本電気鉄道(株)	377新地団地線（合志市役所）	当該系統を運行する車両の中には、車齢20年を超えるものもあり、安全性や移動の円滑化の観点から、計画的なノンステップバス車両への更新が必要となっている。
6	2	R6	熊本電気鉄道(株)	377新地団地線（合志市役所）	当該系統を運行する車両の中には、車齢20年を超えるものもあり、安全性や移動の円滑化の観点から、計画的なノンステップバス車両への更新が必要となっている。



10. 車両の取得に係る定量的な目標・効果

新規車両の取得により、利便性の向上及び移動の円滑化を図り、運行系統の現状の輸送量を維持することを、本計画における定量的な目標とする。  
取得車両及び車両が運行する系統ごとの目標及び効果については、次のとおりである。

番号	取得 年度	事業者名	運行系統名	1日当たり輸送量		効 果
				R5年度 実績	R7年度 目標値	
1 1	R4	産交バス(株)	菊池経由山鹿・大津線	26.5 人	20.1 人	R5年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
2 2	R4	産交バス(株)	菊池経由山鹿・大津線	26.5 人	20.1 人	R5年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
3 3	R7	産交バス(株)	河内経由 熊本・小天線	42.5 人	39.1 人	R5年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
			植木・大倉経由熊本・玉名線	19.6 人	17.9 人	R5年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
			桜山経由玉名市役所・荒尾線	27.3 人	24.9 人	R5年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
4 4	R7	産交バス(株)	河内経由 熊本・小天線	42.5 人	39.1 人	R5年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
			植木・大倉経由熊本・玉名線	19.6 人	17.9 人	R5年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
			桜山経由玉名市役所・荒尾線	27.3 人	24.9 人	R5年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
5 1	R5	熊本電気鉄道(株)	377新地団地線 (合志市役所)	26.0 人	26.0 人	R5年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
6 2	R6	熊本電気鉄道(株)	377新地団地線 (合志市役所)	26.0 人	26.0 人	R5年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。

11. (表5) 車両の取得計画の概要

令和7年度

都道府県 (市区町村)	バス事業者等名	補助対象車両数	車両減価償却費等に要する 国庫補助額(千円)
熊本県	産交バス(株)	初年度 車両減価償却 2	初年度 車両減価償却 3,000
		初年度 車両購入金融費用 2	初年度 車両購入金融費用 121
		2年目以降 車両減価償却 2	2年目以降 車両減価償却 3,000
		2年目以降 車両購入金融費用 2	2年目以降 車両購入金融費用 57
		車両数 計 4	計画額 計 6,178
		熊本県	熊本電気鉄道(株)
初年度 車両購入金融費用 0	初年度 車両購入金融費用 0		
2年目以降 車両減価償却 2	2年目以降 車両減価償却 3,680		
2年目以降 車両購入金融費用 2	2年目以降 車両購入金融費用 210		
車両数 計 2	計画額 計 3,890		
合 計		6	10,068

1 2. （表6） 車両の取得を行う事業者

事業者名	産交バス株式会社
------	----------

1. 車両取得の概要

初年度(令和 7 年度)										
補助ブロック名	申請番号	確保維持路線名称又は区間	確保維持費国庫補助金申請番号	車両の種別			乗車定員(人)	車両の長さ(m)	購入等予定年月	購入等の種別 (現金、割賦、リース)
南九州	3	河内経由熊本・小矢線 橋本・大倉経由熊本・玉名線 桜山経由玉名市役所・荒尾線	2・3・8	超低床	スロープ付き	標準仕様	57	9.0	R6.10	リース
南九州	4	河内経由熊本・小矢線 橋本・大倉経由熊本・玉名線 桜山経由玉名市役所・荒尾線	2・3・8	超低床	スロープ付き	標準仕様	57	9.0	R6.10	リース

【購入車両減価償却費】  
○事業者の減価償却方法(定率法or定額法)

定額法
-----

申請番号	実費購入予定費(円)*消費税を除く				実費購入予定費合計額から備忘価格を控除した額(円)	ホと限度額のうち少ない方の額(円)	普通償却限度額 (定率法) △×(0.5or0.4)=ト (定額法)△×0.2=ト	特別償却額(円)	償却限度額(円)	事業者償却額(円)	△と△のうち少ない方の額(円)	償却期間(月)	補助対象経費 △×7÷12(月)=カ	計画額(千円)	* 残存価格(円) △-カ=タ
	車両価格	附属品価格	改造費	合計											
	イ	ロ	ハ	イ+ロ+ハ=ニ	ニ-1円=ホ	ヘ		チ	ト+チ=ス	ル	ヲ	7		カ×1/2=コ	
3	16,354,000	665,242	0	17,019,242	17,019,241	15,000,000	3,000,000	0	3,000,000	3,233,656	3,000,000	12	3,000,000 円	1,500.0	12,000,000
4	16,354,000	665,242	0	17,019,242	17,019,241	15,000,000	3,000,000	0	3,000,000	3,233,656	3,000,000	12	3,000,000 円	1,500.0	12,000,000
計	32,708,000	1,330,484	0	34,038,484	34,038,482	30,000,000	6,000,000	0	6,000,000	6,467,312	6,000,000		6,000 千円	3,000	24,000,000

【車両購入金融費用】  
○事業者の返済方法(元利均等or元金均等)

元利均等
------

申請番号	金融費用補助対象額(円) への額以内	償還期間(月)	借入利率(%) 年利	レと2.5%のうち低い方の率(%)	補助対象経費	計画額(千円)
			レ	ソ	ツ	ツ×1/2=ネ
3	15,000,000	12	0.85%	0.85%	121,135 円	60.5
4	15,000,000	12	0.85%	0.85%	121,135 円	60.5
計	30,000,000				242 千円	121

【所要経費】	
補助対象経費(千円)	計画額(千円)
カ+ツ	コ+ネ
6,242	3,121

【負担者とその負担割合】											
補助ブロック名	申請番号	負担者とその負担割合									
		都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担		「その他の者」の 具体的概要	
		負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合		
南九州	3	1,560,500 円	25.0 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %	112,656 円	1.8 %		
南九州	4	1,560,500 円	25.0 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %	112,656 円	1.8 %		
合計		4,993,600 円	80.0 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %	563,280 円	9.0 %		

2年目以降(令和 7 年度)				
補助ブロック名	申請番号	確保維持路線名称又は区間	確保維持費国庫補助金申請番号	
			当該年度	初年度
南九州	1	菊池経由山鹿・大津線	4	4
南九州	2	菊池経由山鹿・大津線	4	4

【購入車両減価償却費】  
○事業者の減価償却方法(定率法or定額法)※法令で認められた場合を除き、年度間での変更不可

定額法
-----

申請番号	補助対象限度額(円) 初年度への額=ナ	残存価額(円) 前年度7(2年目のみ)の額=ラ	普通償却限度額 (定率法) ラ×(0.5or0.4)=ム (定額法)ラ×0.2=ム	特別償却額(円)	償却限度額(円)	事業者償却額(円)	ノとオのうち少ない方の額(円)	償却期間(月)	補助対象経費 ク×ヤ÷12(月)=マ (最終年度)ク=マ	計画額(千円) マ×1/2=ケ	* 残存価格(円) ラ-マ=フ
				ウ	ム+ウ=ノ	オ	ク	ヤ			
1	15,000,000	7,500,000	3,000,000	0	3,000,000	3,233,656	3,000,000	12	3,000,000 円	1,500.0	4,500,000
2	15,000,000	7,500,000	3,000,000	0	3,000,000	3,233,656	3,000,000	12	3,000,000 円	1,500.0	4,500,000
計	30,000,000	15,000,000	6,000,000	0	6,000,000	6,467,312	6,000,000		6,000 千円	3,000	9,000,000

【車両購入金融費用】  
○事業者の返済方法(元利均等or元金均等)

元利均等
------

申請番号	金融費用補助対象額(円) ナの額以内=コ	償還期間(月)	今年度償還回数		借入利率(%) 年利	エと2.5%のうち低い方の率(%)	補助対象経費	計画額(千円)
			(自)	(至)				
					エ	テ	ア	ア×1/2=サ
1	15,000,000	12	31	42	0.85%	0.85%	57,322 円	28.6
2	15,000,000	12	31	42	0.85%	0.85%	57,322 円	28.6
計	30,000,000						114 千円	57

【所要経費】	
補助対象経費(千円)	計画額(千円)
マ+ア	ケ+サ
6,114	3,057

【負担者とその負担割合】											
補助ブロック名	申請番号	負担者とその負担割合									
		都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担		「その他の者」の 具体的概要	
		負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合		
南九州	1	1,528,500 円	25.0 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %	176,556 円	2.9 %		
南九州	2	1,528,500 円	25.0 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %	176,556 円	2.9 %		
合計		3,057,000 円	50.0 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %	353,112 円	5.8 %		

12.（表6）車両の取得を行う事業者

事業者名	熊本電気鉄道株式会社
------	------------

1. 車両取得の概要

2年目以降(令和 7 年度)

補助ブロック名	申請番号	確保維持路線名称又は区間	確保維持費国庫補助金申請番号	
			当該年度	初年度
南九州	1	新地団地線	1	5
南九州	2	新地団地線	1	6

【購入車両減価償却費】

○事業者の減価償却方法(定率法or定額法)※法令で認められた場合を除き、年度間での変更不可

定率法
-----

申請番号	補助対象限度額(円)	残存価額(円)	普通償却限度額	特別償却額(円)	償却限度額(円)	事業者償却額(円)	ノとオのうち少ない方の額(円)	償却期間(月)	補助対象経費 ク×ヤ÷12(月)=マ (最終年度)ク=マ	計画額(千円) マ×1/2=ケ	*残存価格(円) ラーマ=フ
	初年度への額=ナ	前年度フ(2年目のみナ)の額=ラ	(定率法) ラ×(0.5or0.4)=ム (定額法)ナ×0.2=ム								
1	15,000,000	6,900,000	2,760,000	0	2,760,000	3,437,280	2,760,000	12	2,760,000 円	1,380.0	4,140,000
2	15,000,000	11,500,000	4,600,000	0	4,600,000	6,120,000	4,600,000	12	4,600,000 円	2,300.0	6,900,000
計	30,000,000	18,400,000	7,360,000	0	7,360,000	9,557,280	7,360,000		7,360 千円	3,680	11,040,000

【車両購入金融費用】

○事業者の返済方法(元利均等or元金均等)

元利均等
------

申請番号	金融費用補助対象額(円) ナの額以内=コ	償還期間(月)	今年度償還回数		借入利率(%) 年利 エ	エと2.5%のうち低い方の率(%) テ	補助対象経費 ア	計画額(千円) ア×1/2=サ
			(自)	(至)				
1	15,000,000	12	20	31	2.00%	2.00%	180,907 円	90.4
2	15,000,000	12	8	19	2.00%	2.00%	239,900 円	119.9
計	30,000,000						420 千円	210

【所要経費】

補助対象経費(千円)	計画額(千円)
マ+ア	ケ+サ
7,780	3,890

【負担者とその負担割合】

補助ブロック名	申請番号	負担者とその負担割合									
		都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担		「その他の者」の 具体的概要	
		負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合
南九州	1	1,470.4 円	0.05 %	円	0 %	円	0 %	円	0 %	円	0 %
	2	2,419.9 円	0.05 %	円	0 %	円	0 %	円	0 %	円	0 %
合計		3890.3 円	0.05 %	0 円	%	0 円	%	0 円	%		

### 13. 協議会の開催状況と主な議論

地域ブロック名	日時	該当地域 ブロック	市町村	主な議論
天草地域ブロック 部会	令和6年5月31日	天草	天草市、上天草市、苓北町	原案のとおり承認
県北地域ブロック 合同部会	令和6年6月5日	菊池	菊池市、合志市、大津町、菊陽町	原案のとおり承認
		鹿本	山鹿市	
		玉名	玉名市、荒尾市、玉東町、和水町、南関町、長洲町	
		阿蘇	阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村	
県南地域ブロック 合同部会	令和6年6月7日	八代	八代市、氷川町	原案のとおり承認
		水俣・芦北	水俣市、芦北町、津奈木町	
		球磨	人吉市、錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村	
県央地域ブロック 合同部会	令和6年6月12日	熊本	熊本市	原案のとおり承認
		宇城	宇城市、宇土市、美里町	
		上益城	山都町、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町	

1 4. 協議会メンバーの構成（熊本県地域公共交通協議会）

国・市町村	1	九州運輸局	
	2	九州運輸局熊本運輸支局	
	3	熊本地域ブロック部会（熊本市）	部会長代理
	4	宇城地域ブロック部会（宇城市）	部会長代理
	5	玉名地域ブロック部会（玉名市）	部会長代理
	6	鹿本地域ブロック部会（山鹿市）	部会長代理
	7	菊池地域ブロック部会（菊池市）	部会長代理
	8	阿蘇地域ブロック部会（阿蘇市）	部会長代理
	9	上益城地域ブロック部会（山都町）	部会長代理
	10	八代地域ブロック部会（八代市）	部会長代理
	11	水俣・芦北地域ブロック部会（水俣市）	部会長代理
	12	球磨地域ブロック部会（人吉市）	部会長代理
	13	天草地域ブロック部会（天草市）	部会長代理
関係公共交通事業者等	14	九州旅客鉄道株式会社熊本支社	
	15	肥薩おれんじ鉄道株式会社	
	16	くま川鉄道株式会社	
	17	南阿蘇鉄道株式会社	
	18	熊本電気鉄道株式会社	
	19	熊本市交通局	
	20	九州産交バス株式会社	
	21	産交バス株式会社	
	22	熊本電気鉄道株式会社	
	23	熊本バス株式会社	
	24	熊本都市バス株式会社	
	25	熊本都市バス株式会社共同経営推進室	
	26	一般社団法人熊本県バス協会	
	27	一般社団法人熊本県タクシー協会	
関係道路管理者	28	熊本河川国道事務所	
	29	熊本県土木部道路都市局道路保全課	
関係公安委員会	30	熊本県警察本部交通部交通規制課	
地域公共交通の利用者	31	公益社団法人熊本県老人クラブ連合会	
	32	熊本県PTA連合会	
学識経験者	33	学識経験者	副会長
その他の作成主体が必要と認める者	34	公益社団法人熊本県観光連盟	
	35	社会福祉法人熊本県身体障害者福祉団体連合会	
熊本県	36	企画振興部交通政策・統計局	会 長